

ロックガーデンの写真

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014年12月31日(水)12時48分46秒

大みそか、今年も押し詰まりました。

当方、来年の山嶽寮の資料を整理しています。

実はこの冬のはじめ頃、雨宮さんから「フクデンさんの記録を活用しては」とメール。

安井さんにも雨宮さんから同様のメール。

安井さんにご尽力頂いてフクデンさんのアルバム、大学から6冊預かりました。

自宅に持ち帰り、プリンタのオマケ機能のスキャナでちまちま取りこんでいます。

(いらっとくるほど動きが遅い。けど職場のスキャナ使うのもちょっと具合が悪い・・・)

まあ、この休みにどうにか片づけたいと思います。

ところで中にあった、ロックガーデン・ゲートロック、尋常科の頃の写真。

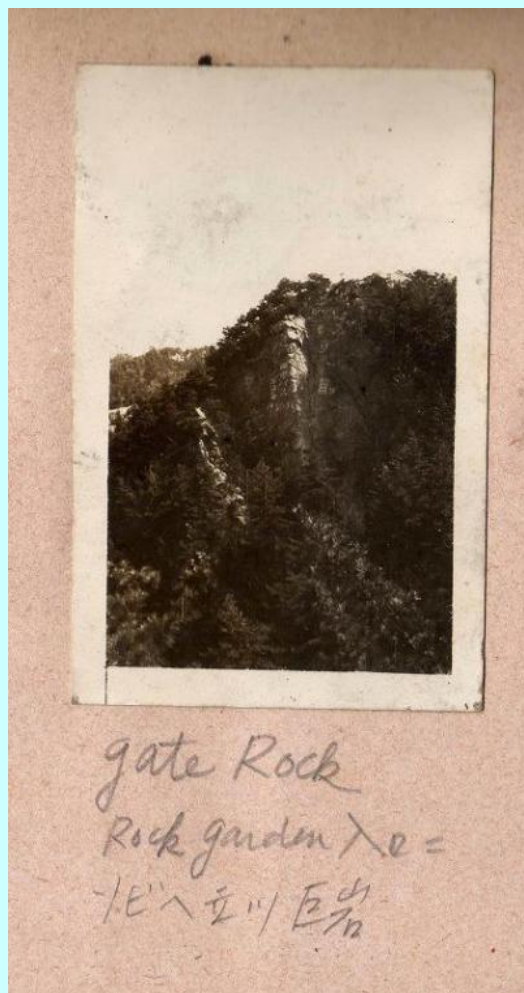
光のあたるフェースの左に「阪国バス」と読める部分があります。

右に漢字の「日」に似たものや上部にアルファベットのようなものも。

どなたか「昭和のはじめにはゲートロックに落書きがあった」という情報をお持ちではありませんか。

情報があつたら記事に使えるかなと、お尋ねする次第です。

皆様よいお年を。





お墓参り

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014年12月30日(火)23時47分19秒

藪内君の事故からほぼ30年経ちます。

その節は皆様にご援助いただきありがとうございました。

ヤブの同級生の要くん初め心安いメンバーにお声がけ。

六甲のお墓にお参りしてきました。

30年。メンバーもだいぶ老化、いえいえ味のある姿に。

墓前で缶ビールで思い出話。そのまま解散にはならず、六甲道で昼ビールの追加と昼飯。

日差しの暖かなひと時でした。



雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2014年12月20日(土)09時42分31秒

雪見会のお知らせ。

1月24日 25日 中心に行います。奮ってご参加ください。

尚 参加される方。日程と同時に、最初の食事と最後の食事予定、記入願います。

2014 忘年会 IN 尼崎

投稿者：タニ 投稿日：2014年12月13日(土)20時47分51秒

忘年会お疲れ様でした！

ご尽力頂いた石原様、有り難う御座いました！！



Re: カニ・きのこ・香住鶴

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年11月25日(火)18時29分36秒

越田和男さんへのお返事です。

香住が伊藤愿先輩の出身地とは知りませんでした。

いろいろとご縁があるものですね。

香住鶴は関西限定かと思っていましたが、そちらのほうでも販売されているんですね。

日本酒については、兵庫県は恵まれています。

私は住吉で生まれ育ちました。白鶴酒造の空き箱置き場で基地を作り、菊正酒造の空き瓶置き場でかくれんぼをして遊んでいました。

御影、住吉、魚崎と、いろいろな酒造会社の見学ができるようです。

酒蔵巡回バスもあるようですが、街中ハイキングしながら試飲の繰り返しを楽しまれている方もおられるようです。

山に登るばかりでなく、こんなツアーも楽しそうです。

Re: 雪見会

投稿者：南井英弘 投稿日：2014年11月23日(日)20時18分56秒

> [No.2095\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

> 昨夜の小谷の地震。前田館は、びっくりしたけれど、大丈夫。とのことでしたが、なにせ夜中のこと。暖房や風呂などの配管設備に異常ないか、これからの調べ、になると思います。

> ついでながら、 雪見会 1月24, 25日 中心に行う予定です。

飯田進さま

今回の地震による前田館の被害を心配していました。万が一被害を受けておられたら忙しい時の電話は迷惑だと。

ご案内で様子を知り安心しました。

リフトやゴンドラの被害チェックもありますが、1月24・25日の雪見会もできそうですね。楽しみにしています。その節は宜しくお願いします。

Re: カニ・きのこ・香住鶴

投稿者：越田和男 投稿日：2014年11月23日(日)16時12分30秒

山本 恵昭さんへのお返事です。

実は、兵庫県出身ながらこの酒のことを最近まで知りませんでした。

香住と云えば、昭和初期に大活躍された甲南山岳部の先輩・故伊藤愿さんの出身地。その愿さんの遺稿集「妻におくった九十九枚の絵葉書・伊藤愿の滞欧日録」（清水弘文堂書房）が上梓された頃、編集の二女松方恭子さんに教えてもらったのでした。

最近、日吉の東急に時々入荷するので辛口の方を買って楽しんでます。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2014年11月23日(日)10時27分57秒

昨夜の小谷の地震。前田館は、びっくりしたけれど、大丈夫。とのことでしたが、なにせ夜中のこと。暖房や風呂などの配管設備に異常ないか、これからの調べ、になると思います。

ついでながら、 雪見会 1月24, 25日 中心に行う予定です。

Re: カニ・きのこ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年11月18日(火)21時59分38秒

> [No.2093\[元記事へ\]](#)

おーもりさんへのお返事です。

私も記憶がないので、皆さんの酔っ払い度合いがわかりません。

まだ明るいうちから、武田さんが買ってきてくださった香住鶴「ひやおろし」から始まり、それが無くなるとスーパーで購入した香住鶴冬季限定「しぼりたて」原酒へ。どちらも甘口ながらしつこさはなく、フルーティで美味しい

お酒です。それぞれアルコール分 18%、19%と書いてあります。つい飲みすぎて、酔っ払うはずですね。
ちなみに、香住鶴の社長さんは甲南出身だとか。良い仕事されておられますね。

Re: カニ・きのこ

投稿者：おーもり 投稿日：2014 年 11 月 17 日(月)23 時 40 分 24 秒

> [No.2088\[元記事へ\]](#)

浜坂ツアーの皆様。お世話になりました。

今年も、ご迷惑をかけた覚えもご迷惑を被った覚えもなく、平穩無事に終了して何よりです。

多分・・・。

幹事の山本リーダーも、温厚井上さんも、私のことを表だって非難していないので、きっと平穩無事にすんだものと信じております。武田さん・平井さんもご同様、と勝手に思っております。

さて。この催しももう 10 何年になりますね。

おかげさまで毎年季節のキノとカニを味わえてありがたいことです。

リーダー山本に感謝しております。

さてさて。日曜日、帰神の当日は娘が外食。というわけで本日月曜に「我が家のかにチリの夕べ」を迎えました。

私も若いころそうでしたが、仕事はなかなか早く帰りにくい。

そんな中で、娘はいつもより 30 分ほど早く 8 時前に帰宅。「えらい早かったなあ」。

「私んち、今日はカニですから早く帰ります」と宣言したとか。うーん強引、カニの魅力。

で。今年も無口なカニの夕べを楽しみました。おいしく頂けてありがたいことです。

さてさてさて、ご近在の皆様。

来年はお仲間にいかがでしょう。

カニの値段ですか。時期やモノによりますが結構割安。概ね町の 1/3 くらいかと。

いろんな方がご覧になっているようで、はっきり書くのははばかれますけど、1 枚千円台から 2 千円台程、そんなくらいです。

カニキノ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 11 月 17 日(月)21 時 19 分 32 秒

カニキノ会に参加の皆様、お疲れ様でした。

土曜日 7 時頃は晴れていたのですが、森の中をきのこを求めてうろうろしていると急に黒い雲が現れました。しばらくすると夕立のような降雪に見舞われ、見る見る笹の上に積もっていく。林道に雪が積もると降りれなくなると思い急いで下山していたら、平井さん井上さんと合流。下のほうはそうでもないそうなので、一緒に山頂往復。

温泉をパスし買出しをして、武田さんと合流。香住鶴ひやおろしを呑みながら、マイタケ天ぷら、ニシンの刺身、セコガニ、焼きヒラタケポン酢和え、焼きガニ。そうこうしていると大森さん登場。にぎやかにワイワイやるうち

に酔いがまわって、気がつけばいつの間にか車の寝袋の中でした。久しぶりに記憶がない。結局、カニキノ鍋は作ったものの、誰も手をつけずに皆さん夢の世界へ行かれたようです。

日曜日、朝から穏やかに晴。武田さん平井さん大森さんが競市へ。たまたまお願いした仲買人は、数年前にも依頼した方だったそうです。なかなか良いカニを安く仕入れていただきました。朝から昨夜のとろとろになったカニキノ鍋を食べてお腹一杯。雑炊にはたどり着きませんでした。食べきれずに余った分を捨てるのには忍びなく、鍋ごと持って帰って家で濃厚カニキノ味を再度楽しみました。

久しぶりにカニ・きのこに参加して

投稿者：井上 知三 投稿日：2014 年 11 月 16 日(日)17 時 47 分 44 秒

カニ・きのこに参加の皆さまお疲れさまでした。幹事役の山本 恵昭さん何時ものことながら感謝・感謝ありがとうございました。

昨日、会長の平井さんと早朝豊中を出発、順調よく9：30に集合場所の畑が平に到着。身支度を始めると思わぬ降雪一面うっすら雪化粧しました。先発の山本さんと中腹辺りで合流きのこを探しながら扇ノ山の避難小屋で昼食後駐車場に下山。

その後、浜坂のカニ祭り・宴会の買い出し準備と慌ただしく時が過ぎ夕刻 武田 雄三さん大森 雅宏さんと何時もの浜坂県民サンビーチのキャンプ場で合流。皆で宴会の準備開始。

今回の目玉は幻の天然のまいたけ【山本さんが事前に準備】の天ぷら美味・絶品でした。それに雄さん持参の「香住鶴のひやおろし」が相性抜群、例年の焼きカニ・鍋と時の過ぎるのも忘れ楽しい時間を過ごしました。

今回は少人数だったので色々恵まれラッキー・・・？翌朝はカニのせり昨年不漁だったようですが今年は目標の数を確保値段も手頃でした。記念撮影後解散。忘年会の話もチラホラ・・・？



Re: カニ・きのこ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 11 月 12 日(水)22 時 49 分 34 秒

> [No.2089\[元記事へ\]](#)

結局、山には平井さん、井上さん、私の3人になりそうです。

夕方、宴会に武田さん、大森さんが参加予定です。

一応、10時に畑が平で合流ということをお願いします。

私は、金曜夜に出発しようかと思っています。駐車場に車だけあったら、その場合は朝一から森に入っていますので道の途中でコールして声をかけてください。

雪で林道が上れないときは、林道途中で待っておきます。合流して温泉にでも行きましょう。

Re: カニ・きのこ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年11月10日(月)18時08分32秒

> [No.2088\[元記事へ\]](#)

昨日下見に行ってきました。

林道は問題なし。途中の黄葉がきれいでした。

キャンプ場の炊事場は開いていて、昨日は使える状態でした。

きのこの方は、ちょっと変な感じ。

古くなったナメコがたくさん朽ちていて、これから大きくなる幼菌がありませんでした。

逆に、ムキタケは幼菌のみ。

クリタケ、ブナシメジは見つからず。

いつもと様子が違うのは、異常気象のせいでしょうか。

スーパーで爪1本・足2本だけのカニ（ほとんど甲羅だけ）を超安売りをしていたので購入し、カニ味噌・足の付け根の身を、皆様に先駆けて味わってきました。

そんなカニでも、地物はおいしかったです。

カニ・きのこ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014年10月30日(木)22時13分5秒

今年も時期になりました。

金・土は仕事がありますので、フル参加はちょっとむりですが。

温泉30パーセント・宴会100パーセントで参加させてください。

山本幹事のおかげさまで、もう何年になりますでしょう。

ありがたく今年もメンバーに加わります。

おーもり

振り込み

投稿者：井上 知三 投稿日：2014年10月29日(水)06時43分28秒

昨日、振り込み確認いたしました。お手数おかけいたしました。

カニキノコ会

投稿者：平井幹男 投稿日：2014年10月28日(火)08時15分17秒

いつもお世話になります。今年も参加させていただきます。宜しくお願いします。

振込み

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年10月27日(月)21時41分41秒

パソコン不調のため、掲示板で連絡をさせていただきます。

皆様へ

今年のカニキノコ会は11月15日16日に行おうと思います。

よろしくお願いいたします。

大森さん

山嶽寮印刷代、本日振り込みました。

井上さん

お立替いただいていた発送費用等、本日振り込みました。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2014年10月22日(水)19時18分47秒

山本恵昭から写真が届きました。

アルバムにUPしました。

Re: 山で1泊 海谷高地にて

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年10月22日(水)18時20分42秒

越田和男さんへのお返事です。

ご心配いただき、有難うございます。

とても小心者ですので、用心には用心を重ね、慎重に行動しています。

ただ、老化が着実に近づいてきていることは実感しています。

乱視が進んで遠くも近くも見えにくい。薄暗くなるともっと見えない。

膝が上がりにくい。指先がスムーズに動かないときがある。

十数年前、庭でこけて手を骨折したときに思いました。野生動物としては、もう寿命なんだと。

これからも、安全第一で自然を楽しみたいと思います。

Re: 山で1泊 海谷高地にて

投稿者：越田和男 投稿日：2014年10月22日(水)10時52分44秒

山本 恵昭さんへのお返事です。

梅谷山塊単独紀行興味深く拝読。貴君の衰えを知らぬ山行意欲、技術、体力、生活力にはいつも感服

の至りです。でも実は、今回は羨ましさを通り過ぎて、きわどい痩せ尾根の下降や、増水の渡渉など、ひやひやの連続でもありました。どうか仲間の居ないときはもう少しのんびり歩きを楽しんで下され。

山で 1 泊 海谷高地にて

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 10 月 21 日(火)21 時 59 分 33 秒

以前、雨宮さんからお勧めいただいていた頸城駒ヶ岳に行ってきました。今年 5 月にカンさん・大森さんと海谷高地から登ろうとしたのですが、増水した海谷溪谷を渡渉できずに断念。今回は単独で、素直に登山道をたどって駒ヶ岳へ登り、海谷高地をまわってきました。日帰りでも可能なコースですが、せっかくなのでキャンプ道具を担いで海谷高地で一泊してきました。

10 月 18 日(土)三峡パークへ 8:00 に到着。準備をして 8:40 出発。急な登山道を梯子やロープを頼りに登り続けると、やがて斜度が落ちて上部ブナ林へ。下はまだ緑豊かな森なのに、この辺りは黄葉が、そして山頂部はもう葉が落ちている。この山の急な登り坂は季節の移ろいを迎っているかのようだ。11:00 少し開けた山頂で昼食。紅葉の阿弥陀山、うすら雪化粧をした焼山、すでに白く輝く長褥の山々が見渡せる。ハヤブサが頭上を 3 回転して飛んでいった。

駒ヶ岳南峰からは、痩せ尾根の急な岩場の下りに緊張の連続。古い残置ロープや錆びた鎖が頼りないが、他に頼るものがないので頼らざるを得ない。最低コルからは、鬼ヶ面山へ急な登り返し。道は鬼ヶ面山頂は巻いて、また急な下りへと。鬼ヶ面山を超えて、少しは穏やかな道となる。ふと道端の立ち枯れブナを見るとキノコが…。こんな悪場でキノコに目がいく酔狂は私だけか。ナメコザクザク、ヒラタケどっさり、クリタケ、ブナシメジを少々。キャンプ用具の重荷に、さらに追加荷物が加わった。

鋸岳の登りにさしかかって少し進むと、海谷への分岐に到着 14:00。左へ折れて尾根上の道をひたすら下る。氷ノ山辺りのブナは大木ほど瘤や枝折れでごつごつして、いかにも苦労して生き抜いてきたという印象だが、このあたりのブナは同じ大木でも幹が素直にまっすぐ伸びていて美しい。

15:20 海谷溪谷の川原に降り立った。登山靴をサンダルに履き替えてズボンをたくし上げ、渡渉を繰り返して下る。水深はすね程度。16:00 取水口の近くの川原にテントを設営した。流木を集め焚火をするが、急激な冷え込みに我慢できず早々にテント内へ逃げ込む。夕食はたっぷりのキノコスープ。

19 日(日)7:30 キャンプ地前の流れを渡ると登山靴に履き替え、よく整備された登山道を下る。後は歩くだけと油断していたら、そうは問屋が卸さなかった。最後の渡渉地点、普段はすね位の深さと聞いていた。しかし、数日前の雨の影響か、今は岩の間をドウドウと水が流れている。こけたら巨岩の間に挟まれて、水没お陀仏。覚悟を決めて、腰まで浸かって渡渉する。対岸に渡り終え、誰もいないことをいいことにズボンもパンツも脱いで絞り、岩の上でしばらく干してみる。しかし、この谷底にまだまだ陽も当たりそうにない。あきらめて濡れたまま履いて先を急ぎ、三峽パーク 9:00 着。

三峽パークでは、ちょうど海谷祭りの開会式が始まったところであった。いろいろな出店があり、手打ちそば、地鶏焼き鳥を食べる。珍しくハタケシメジを販売していたので購入し、お土産に。

海谷高地での 1 泊。

夜半、目が覚めて外をのぞくと無限の星空、それを切り取る山々の黒いシルエット。そしてすぐにウトウト。次に目が覚めると、いつの間にか主役は月にかわっていた。夜露に濡れた川原の岩が月明かりに輝く。思わずテントの入口を全開にして寝袋に入ったまま眺め続ける。ゆっくりとした時間が流れ、東の空が白みだす。漆黒の森から、モノトーンの木々の姿が浮かびあがり、やがて赤や黄色の彩を取り戻した。鬼ヶ面に朝日が当たり輝いていたかと思うと、しばらくして川原にも陽が届き、逆光の中で川面から朝霞が立ち昇る。焚火の火を起こし、コーヒーを一杯。

最高に贅沢な時間。辻まことの世界に少しは近づけたすばらしい「山で 1 泊」でした。



「山岳寮」をありがとう！

投稿者：井上徹 投稿日：2014 年 10 月 21 日(火)10 時 35 分 28 秒

楽しみにしておりました、機関紙「山岳寮」が先日届きました。皆さんの行動力にただただ感心し、驚くばかりです。特に同期の塩崎君の行動力にはものすごく刺激を、毎回ですが受けます。恒例のクルーズの旅は 10 月 29 日夜神戸ポートターミナルから出航する【CELEBRITY MILLENIUM 号】で出かけます。船中で読

むのを楽しみにしています。28～29日久しぶりの三宮や元町界隈を散策する予定です。

Re: 秋の駒王集会

投稿者：越田和男 投稿日：2014年10月12日(日)21時33分58秒

> [No.2078\[元記事へ\]](#)

渋谷一正さんへのお返事です。

この度もお世話様でした。60代～80代の老人クラブではありましたが、楽しい集いでした。厚く御礼申し上げます。山岳部の行く末を案じるマジメな議論もありましたが、具体的な妙案が出るわけもなく、愚痴と嘆き節に終始して、失礼をいたしました。

帰路、藪原から古い林道を車で辿り着いた旧鳥居峠近くの御嶽遥拝所のひなびた佇まいと、御嶽の噴煙の遠望は、旅のいいオマケでした。勿論犠牲者の方々に手を合わせた次第です。

駒王で同宿した、遠方から御嶽の搜索に応援に来ていたらしい婦人警官（または自衛官？）のなかに、結構な美人が居られたことを後で聞き、気がつかなかったのが残念至極。

秋の駒王集会

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014年10月12日(日)17時23分53秒

18名が参加し、無事終了しました。

今日は駒王集会

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014年10月11日(土)07時23分25秒

麻島重彦先輩が参加されます。総勢19名です。

白川君へ

投稿者：南里章二 投稿日：2014年10月10日(金)20時52分3秒

お元気で何よりです。息子さんとの富士登山の様子、楽しく拝見しました。昨夜届いた山岳会誌に載せられた白川君の長文の寄稿も楽しく読ませていただきました。白川君の高校時代、部員が唯一人ということで大学山岳部にお任せしっ放しで何も指導出来ず申し訳ありませんでした。しかしこの20年ほど思い続けられてきたことを一気に掃き出し、心の整理もつかれたことでしょう。今となってはあの時白川君の面倒を見ていた田中、宮崎、西濱君たちも白川君が大学山岳部に入らなかったことを決して責めることなくむしろ暖かい目で見守ってくれていると思います。大学進学時に「きつく注意」するだけでなくもっと真摯に相談にのってあげられたら良かった。

たと反省しています。しかし卒業後、部員が増えた高校の合宿に何度か参加してくれて、現役生が白川君を「鉄人」と呼んでいたことをよく覚えています。しばらくポナペ島で暮らされていたとか。白川君が居るうちにもう一度ポナペを訪れたかったのですができませんでした。これから山岳会の集まりにも堂々とご参加ください。お待ちしております。

秋の集会 駒王

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014年10月9日(木)21時55分56秒

今日、ある先輩より連絡あり、台風はきているし、御岳は噴火している。

集会はやるの？

やりますよ！山岳会の年に一回の集会ですから！

富士登山 9月14日

投稿者：白川 浩平 投稿日：2014年10月9日(木)02時54分51秒

今年の夏に富士山に登ろう！と小学5年生の息子と約束していましたが、長雨のせいで夏休み中に行く事が出来ませんでした。今年は無理かなあとあきらめかけていましたが、9月13、14、15日の連休の天気予報が良く、今年最後のチャンスだと思い、急遽出発しました。13日、高知県足摺岬より一日かけてのドライブで深夜富士宮ルート5合目駐車場着、車の中で仮眠。夏山最後の連休のせいか、かなり登山者が多く、結構うるさくて落ち着かない。少し眠ったらもう5時頃になり、準備を始める。6時頃朝日を見ながら出発、宝永山火口を経て、御殿場ルートから頂上を目指す、通称「プリンスルート」で登り、富士宮コースを下山する予定で登り始める。登山口から見上げる頂上は思ったより近く見える。朝一番のうちは快晴で日が当たると暑い位であったが、火口の中の日陰に入るとさすがに寒い。人ごみを避けてこのコースを選んだが、なほ火口の中はガラガラであるが、足下はふわふわの砂利で歩きにくい。御殿場コースに出た位からガスがかかりはじめる。6合目から7合目位で昨夜の睡眠不足がたたったか、疲労が激しい。まるでエベレストの頂上アタックのように（もちろん経験した事はありませんが）足が前に進まない。7合目位からは、それまで元気だった息子も軽い頭痛を訴え始める。頑張って8合目の小屋まで登ったが、2人ともバテバテである。時間的にはまだ余裕があったが、相談した結果、今回は無理せずあきらめる事にする。帰りは少し寄り道をして、宝永山のピークを踏んで行く事にする。宝永山の火口の底からの登山返しがまたきつ、ヘトヘトになって下山しました。変に遠回りをせず、まっすぐ富士宮ルートに登っておけば頂上まで行けたかも・・・とも思いますが、これはこれでいい経験になりました。高校2年生の冬、一人で富士山に登ろうとして、夜中テントを吹雪でつぶされて退却しましたが、いまだに富士山の頂上を極める事が出来ておりません。





映画「アンナプルナ南壁」

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014年10月8日(水)23時44分24秒

この間の土曜に観てきました。

むかしの朝日会館。三宮神社の南側です。

地味な映画でした。

映画「アンナプルナ南壁」

投稿者：越田和男 投稿日：2014年10月8日(水)18時19分57秒

副題－7400mの男たち－ 2014年 スペイン

先に観てきたJACの友人の評判がわりと良かったので観てきました。

まさに山岳ドキュメンタリー映画ではありますが、ストーリー性はなし、頂上を極めての目出度し目出度しのバンザイもなし、スリルを誇張するウソ臭い登攀場面もない、高所キャンプで高山病に倒れた仲間のひたすらの救出劇。結局生還させることが出来なかった救出活動に集まった、国籍の異なる12人の一流クライマー達の生きざまを、数年後に世界各地で行ったインタビューと、現場の映像を巧みに組み合わせて、静かに観客に

問う、という構成になっている。映画化の発想に敬意を表したい。

時間とご興味のある方はどうぞ。上映時間一時間半足らず。私としては星三つ。神戸、大阪でも上映中。

秋の集会 駒王

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014 年 10 月 6 日(月)21 時 38 分 45 秒

川村 静治 先輩が参加できなくなりました。

総勢 18 名になります。

秋の集会 駒王

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014 年 10 月 4 日(土)16 時 30 分 17 秒

山本 真博 先輩が参加されることになりました。

総勢 19 名となります。

森の中で

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 9 月 30 日(火)00 時 47 分 46 秒

9 月 27 日土曜日に、またまた M I 茸を求めて県北の山に行ってきました。

今年は熊の出没が多いとのことで、熊鈴をつけて藪漕ぎを始める。しかし、せっかく自然を楽しむために来ているのに、どうも背中でチリンチリンと風情がない。すぐにはずしてザックの中に掘り込んでしまった。風の音、アカゲラのドラミング、鹿の気配、やはりこうでないと。

尾根まで上がると、遠くで鈴の音が聞こえる。一定のリズムではないので、ハイカーではないだろう。たぶん二人。動いたり、止まったり。これは M I 茸狙いのライバルに間違いない。徐々に近づいてくるその音と姿を、森の中で自分の気配を消してじっと見守る。おじさん二人連れ、ミズナラの根元を行ったり来たりしながらこちらには全く気づかずに行ってしまった。キノコしか見てないのかね。

まるで自分が野生動物になったようである。もしかしたら、私も自分が気づいていないところで、熊や鹿からこんな風に見られているのかもしれない。

いつもの森がなんか変だ。枝振りに勢いが無い。見上げると、二抱えも三抱えもあるようなミズナラの大木が次々と立ち枯れている。近づいてよく見ると、幹の根元に黄色い粉が散らばっている。これは、数年前に京都で問題になったナラ枯れでは。カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により、ミズナラ等が集団的に枯損するナラ枯れ。京大演習林などではいろいろ防護対策を施して最近少し下火になったと聞いていたが、この原生林では手付かずのまま蔓延してきているのか。このまま進むと、増えすぎた鹿の食害で幼木がほとんど育っていないこともあって、この森のミズナラは絶滅してしまうのか。それとも、なかにはナラ枯れに耐性を持つ者もいて生き残るのだろうか。あるいは、気候変動など何か他の原因で木自体が弱って、全体の耐性が落ちているのか。何百年かの時を経て生き残ってきた木々の行く末を、森の未来を、憂う。

そんなこんなで、道なき森の中を 6 時から 14 時まで徘徊し、おじさん二人と鹿 5 頭に出会った以外は誰にも合わず、多少のお土産も手に入れてどっぴりと森に浸ってきました。

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014年9月29日(月)21時17分41秒

御岳山が噴火していますが駒王ではほとんど影響はないそうです。

少し火山灰が舞っているように感じる程度ということです。

10日先のことであり、10月11、12日の集会は予定通り行います。

駒王（秋の集会）

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014年9月28日(日)17時52分42秒

井本 洋（大30理）先輩が参加できなくなりました。

参加者は18名です。

秋の集会

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014年9月24日(水)20時52分43秒

秋の駒王集会に飯田進、塩崎将美両先輩が参加されます。

19名になりました。

秋の駒王集会参加者

投稿者：渋谷一正 投稿日：2014年9月21日(日)07時50分6秒

10月11、12日の駒王集会、参加予定者

鈴木敬吾、砂川彰雄、雨宮宏光、鈴木頼正、田辺潤、

越田和男、武田雄三、伊丹徳行、安井正、井本洋、

國分廣昭、井上知三、平井幹男、渋谷一正、松下哲夫

平井吉夫、川村静治、現在17名

白山西面ロングコース

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年9月17日(水)22時45分18秒

白山は周囲を長い尾根が取り囲み、豊かな森で包み込まれた山です。昨年は、白山北面のロングコース：中宮道から岩間道を楽しみました。今年は、西面のロングコース：別山市ノ瀬道から釈迦新道を、妻を道連れにして歩いて来ました。

9月13日、登山口の市ノ瀬は朝から車と人で大混雑。ほとんどの人は別当出合までバスで行き室堂経由で山頂を往復するようで、次々とバスに乗っていく。

市ノ瀬駐車場を7：00出発。チブリ尾根の下部は、立派なトチやブナ、ミズナラの大木が生えている。ひたすら登ると、10：45チブリ避難小屋へ到着。朝は晴れていたのに、いつの間にかガスに包まれて展望がない。さらに登ると主稜線に出て、別山分岐へ13：00。分岐に荷物を置き、30分ほどかけて別山山頂を往復する。主稜線ではだいにガスも薄れ、白水湖や南竜ヶ山荘が見えてくる。最後にドンと下り、登り返すと南竜ヶ山荘キャンプ場に16：00到着。

小屋で買った缶チューハイ¥300で乾杯。夕食後、いつの間にか寝ていたが、周囲の声に目が覚める。テントの外を覗くと満点の星空で、天の川や流れ星にみんな興奮気味。

9月14日、5：40発。上空に寒気が入り込み、木道や周囲の高山植物には霜が降りて真っ白にな

っている。山荘横からトンビ岩コースをたどり、室堂へ7：10。一気に人だらけとなる。御前峰に8：10到着。快晴の中、東西南北どちらを見ても山また山の連なりで、白山は懐が深いことを改めて認識する。大汝峰はトラバース道を行き、さらに下って登り返すと七倉山分岐10：20。4本の道が合流しているが、静かで良い雰囲気のところだ。

白山釈迦岳に向けて歩きやすい道をどんどん下り、湯の谷乗越に11：30。右に少し下ると水場があるようだが、疲れて行く気がしない。またガスが出て期待していた展望もなし。ひと登りすると、いつの間にか道は白山釈迦岳を巻いて、釈迦が岳前峰へ12：30。ここからジグザグとひたすら下り、嫌になる頃やっと林道に合流する14：30。あとは林道をたどりショートカット道を進むと、なんとか16：00市ノ瀬駐車場にたどりついた。

バス停の前の旅館の温泉¥600で汗を流し、後は一気に勝山まで車を走らせる。スーパーで惣菜を買い、九頭竜川の河川敷公園で夕食。ガソリンスタンドで教えてもらったトイレ付駐車場で仮眠し、15日早朝、自宅に帰った。

登山ブームのせいか、白山のメインコースは大混雑でした。しかし、さすがにしんどいロングコースは人気がなく、静かな山旅を楽しみました。





旅の思い出

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2014年9月16日(火)07時33分35秒

先月行ったブラジルでの出来事；

T A X I の運ちゃんが同い年で、世話になった友人H君と小生、みな1938年(S13年)生まれ。凄く気が会った。この運ちゃん、陽気な爺さんで、ダンスの先生もしている由。帰りに土産として一発の薬莢とサンバのCDを呉れました。(リオでの二泊目の夜、銃声が聞こえた話をしたので、呉れたようです。) H君の姉夫妻の持つ果樹園で朝早くから散歩、オレンジをもぎ取っては、ペットはき出し、又もぎ取っては食べまし。朝は3度、昼間は27/8度と差が大きくも、素晴らしい生活でした。(果樹園は150町歩とか) H君が勤めてた；日／伯／伊のJ V：のO B懇親P A R T Yは底抜け楽しかった。飲めや、歌えや踊れや、""同じアホなら踊ならそんな""という事で、森山かよこの歌で流行った曲が聞こえ時、誘われるままに、体をゆすりました。恰好なんてどうでもいい、楽しめばよいとの、かの地の気質は豪快なり。

大関の死去

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2014年9月3日(水)07時25分30秒

コシ(越田) からブラジルより""励ましのハガキ送ってやって""と云われてたので、絵葉書をおくりました。彼が亡くなった時、小生は、今回の旅で大変世話になった小学校同期の者の住むビトリリアに着いた日でした。大関が東京勤務時、彼の会社に昼飯時、よく遊びに行った事などが、山行きの他の思い出です。合掌

Re: 大関さん逝く

投稿者：越田和男 投稿日：2014年9月1日(月)11時45分27秒

大関の訃報を、ジンバブエ滞在中に平井センキチから受けた。かねて闘病中、この7月に見舞ったときの弱々しさから察して、本人も周囲もその覚悟は出来ていたとはいえ、彼の事だから奇跡的によくなることもあるのではと、一縷の望みも捨てきれずにいたが、異国の地で逝去に接すると寂しさ一入でした。

60年来の山の付き合いで、ロックガーデン、剣、槍穂に始まり、ネパールやら、パタゴニアへの旅の事、ここ10数年自宅の庭で開いてくれた花見の宴など思い出しながら冥福を祈った。、

また氷河

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014年8月31日(日)23時11分39秒

日経の記者は氷河が好きなんですか。



訃報訂正

投稿者：平井吉夫 投稿日：2014年8月23日(土)16時27分4秒

訂正 (サンライフ)

訃報

投稿者：平井吉夫 投稿日：2014年8月23日(土)15時55分49秒

大関和夫君が8月20日に永眠されました。通夜は、8月25日(月)午後6時より、海老名セレモニーホール(サンラウフ)にて。

平生会

投稿者：平井幹男 投稿日：2014年8月21日(木)08時31分58秒

以前、お知らせした平生会館での集まりを予定通り8月23日土曜日13時より201号室で開催いたします。時間に余裕のある方は、お集まり下さい。テーマは主に、来年に迫った90周年の事等です。宜しくお願いします。

山と禅

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年8月19日(火)23時55分43秒

今年はまともなお盆休みも取れずじまい。沢登りの季節ですが、先々週末は台風、先週末は大雨で、山に入る機会を逃しています。

仕方がないので、16日大雨洪水警報の出ている中、急に思いついて京都へ。娘の下宿へ転がり込み、飲んだくれながら大文字の山焼き見学。

17日は、京都最古の禅寺といわれている建仁寺で、庭を眺めながら3時間ほどボーっと修行してきました。中央に岩が配置されコケ蒸した庭を眺めていて、「これって、南アルプスの沢の源流と同じやんか」と。京都に居るはずなのに、いつの間にか赤石沢やリンチョウ沢に居る。山に行かずして山を感じてきました。

最初は次々と通り過ぎていくいろいろな国からの観光客や美人に目移りしていましたが、そのうち何も気にならなくなってきました。悟りを開いたわけではありませんが、目はあけているのに何も見ていないような感覚に。ただ単に、前日飲み過ぎていただけかもしれませんが。

山に登り自然に包まれているときも、無の境地を感じ求めているのでしょうか。

Re: 救助要請・山岳寮の由来

投稿者：編集 おーもり 投稿日：2014年8月15日(金)09時22分33秒

> [No.2053\[元記事へ\]](#)

越田和男さんへのお返事です。

越田様

さっそくご教示いただきお礼申し上げます。

ありました。

75周年も31号も、おっしゃるように書いてありました。

昭和50年12月の30号は「甲南山岳会通信」、51年6月の31号は「山嶽寮」、表題が変わったのはこの号だったんだと懐かしう手に取ってみたいです。

このころは年2回の発行だったんですね。越田編集長さぞ大変だったでしょう。会員短信に、旧制の伏見教授・山崎教授、時代が違うなあ。南里さんのアフリカ、森さんのザンスカール、松下さんと私の事故報告。いろいろ「ご意見」頂きました。

前後の号も「へ、こんなことあったんや」・「あ、これ覚えてる」とつい目にとまりますが、さすがにこの時期寄り道してられないので編集に戻ります。

ありがとうございました。

編集 おーもり

Re: 救助要請・山嶽寮の由来

投稿者：越田和男 投稿日：2014年8月14日(木)23時22分45秒

編集 おーもりさんへのお返事です。

厚い中、山嶽寮の編集へのご尽力感謝いたします。

山嶽寮の由来は、昭和の始めに旧制高校山岳部員が御影の長屋の一室を借りて、「山嶽寮」と表札を掲げ、仲間の夜の集いの場所としたことにあります。左翼学生のアジトになるのを恐れた学校当局に閉鎖を命じられ、結局数日のはかない夢となってしまいましたが、その後、山岳部の発行する「部報」、「部内雑誌」、「時報」などの紙面の一部に「山嶽寮」なる欄をもうけて、部員やOBが云いたい放題を記事に出来る場を提供してきました。

今の「山嶽寮」はその流れを受けて、甲南山岳会通信第31号（昭和51年）から誌名として採用されたもので、以来使われている表紙の題字は故香月名誉会長によるものです。

詳しくはいくつかの記事がありますので、ぜひ是非ご一読下さい。

- ①香月慶太 “山嶽寮炉辺譚” 「山嶽寮」第31号（昭和51年）；「時報」No.VI(1960)からの転載。
- ②越田和男 “あとがき” 「山嶽寮」第31号に誌名に採用した経緯あり。
- ③香月慶太 “山嶽寮爐辺譚” 「山嶽寮」創部75周年記念号（2001年）：「部内雑誌」VII-II（1936）からの転載。

救助要請

投稿者：編集 おーもり 投稿日：2014年8月14日(木)09時33分49秒

久しぶりの書き込みです。編集おーもりです。

山嶽寮の作業、残り400時間を切った今頃に、まだ素材集めにあたふたしています。

救助要請のナカミは、『「山嶽寮」の命名由来、どこかに出ていませんか』です。

今年の総会の後、越田さん牧野さんにバーボンを奢っていただいた時の記憶では、75周年の後ろのほうにあ

った、と情報を頂いたような。

で、ページを繰ってナナメに読んだのですが見つけれません。再読三読が基本ですが、ここは先輩諸兄にお助けいただこうと、書き込みの次第です。よろしくお願いします。あたふた。

井上さん、先日は資料提供ありがとうございました。おかげさまでページが充実しました（自己評価ですけど）。

今回原稿をお寄せくださいました皆様、大変ありがとうございます。おかげさまで誌面が充実いたしました（これは自己評価ではありません）。

追伸 ファイルになった原稿はここ 1 週間くらいならまだ押し込みます。この夏の出来事お寄せになりませんか。

平生会館の集い

投稿者：平井幹男 投稿日：2014 年 8 月 5 日(火)11 時 01 分 14 秒

前回、8 月 2 日に平生会館で開催された会で 90 周年の事がテーマとなり、その時の宿題を持ち寄って今回の平生会館での集いを 8 月 23 日土曜日 13 時より開催いたします。お時間のある方はお集まり下さい

90 周年記念事業

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2014 年 8 月 4 日(月)15 時 34 分 36 秒

山岳会 90 周年も近ずいてまいりました、8 月 2 日の会合欠席しました、皆様ご苦労さんでした、総会で平井先生がご提案頂きました学長をお招きし、日本山岳会、学生山岳の皆様にご案内し、先生、先輩諸氏のお力を借り、これはと思われる講師を準備できればとおっしゃいました、自然を愛する皆様、団体にも呼び掛け、県の皆様も参集頂ける会にしたいものです。、みずのスポーツのお力と、協力えて、我が甲南山岳会は、不滅であり、永遠に残る会にしたいものです。

納涼沢登り

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 8 月 3 日(日)19 時 02 分 44 秒

毎日暑い日が続きますが、そんなときは納涼沢登りというわけで、大森さんと川野との 3 人で県北三川山へ行ってきました。

8 月 1 日（金）夜発、深夜 1：00 に麓の三川権現に到着。元売店の軒先を借りてワインで宴会。

2 日（土）6：00 発、佐津川左俣へ入る。台風の影響で時より雨が降る。フェーン現象のためか蒸し暑い。2 時間ほどは平凡な谷が続くが、やがて 8 m 滝が現れる。右岸のシカの足跡をたどり、最後はロープでビレイして滑りやすい草付の泥壁をトラバースして落ち口へたどり着く。

次はチョックストーンの 3 段滝。お尻を押したり手を引いたり、チームワークの見せ所（誰も見ていませんが）。3 段目は避けようのないシャワークライムでずぶ濡れとなるが、気持ち良い。続く 5 m 滝を左岸から巻くと、また平凡な谷になる。ブナやトチの森が美しい。しばらく行くと 20 m 滝に出会う。右岸を難なく高巻くと、ほぼ終了。

沢をつめるという手もあるが、倒木が多く歩きにくいので、標高 700m 付近から右の尾根に登る。少し藪を漕いでいると、突然湿原が現れる。スギゴケの緑が美しいが、足を踏み入れると、底なし沼のよう。さらに進むと右の谷に砂防ダムが現れる。ラッキーなことにその工事用の林道跡をたどると藪漕ぎなしで、10：00 に

山頂近くの登山道に合流できた。

シャクナゲコースの急な登山道をひたすら下ると、11：30 駐車場へ到着。

ヒルが居なかったのは良かったのですが、帰宅して荷物の整理をしていると、妻が残った食糧の包みからダニを発見。あわてて荷物をチェックし、シャワーを浴びて服を洗濯。シカが沢山いたので、ダニも沢山居たのかもしれない。いろいろなウイルス性伝染病を媒介することで話題になっているので要注意です。そんなわけで、夕方の平生会にちょっと遅刻してしまいました。



Re: 平生会館の集い

投稿者：越田和男 投稿日：2014年8月1日(金)21時07分45秒

> [No.2047\[元記事へ\]](#)

平井幹男さんへのお返事です。

遠隔地在住のため、明日の平生会館の集まりには参加出来ませんが、楽しい集いになることを願っております。現役部員、最若手OBのいないのが何とも残念ですが、会全体の催しに加え、各世代ごとのいろんなイベント（山行も含め）も企画していただくと有難いです。

平生会館の集い

投稿者：平井幹男 投稿日：2014年7月28日(月)10時45分14秒

以前、ホームページでお知らせしていた平生会館の集いがいよいよ今週末の8月2日土曜日に迫りました。気楽にビールでも飲んで雑談したいと思いますので、予定の空いている方は平生会館206号室に18時にお集まり下さい。

近況、渡泊の事

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2014年7月22日(火)16時49分21秒

仙吉、ゴキゴキごぶさたやね。数年前にJ a c 関西支社の方々とカムチャッカの山に登って、これで海外旅行は打ち止め、と決めていました。今年の9月に、卒業した西宮市立甲東小学校最後の同窓会の代表幹事になってるので、この在伯のC L A S S M A T E 夫妻に来ないかと招待せしも、とても無理、出来れば、こちらに来ないかというので、行く訳です。ブラジルではバスは夜行寝台車との事。どんな旅になるか大変待ち遠しいです。一方、黄熱病等の予防接種はやった方がいいらしいと。こりゃ やっぱり遠い国やな、と思ってます。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2014年7月21日(月)20時33分40秒

ポン、元気でなにより。私はもう海外旅行が億劫になりました。

近況

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2014年7月17日(木)05時58分2秒

K A Cの皆さん、ご無沙汰ゴメン。来月(八月)ブラジルに行って来ます。小学校の同級生が兵庫工業高校二年の時に渡伯、想像を絶する苦労を重ね、今はH A P P Yは人生を謳歌してます。奥さんは現地人、二人の娘はイギリス人とレバノン人と結婚、息子はフィンランド人と結婚。彼と車やバスを利用して各地を回ります。彼がブラジル入りしたとき働いた奥地の農園も行きます。合計150歳爺さんの弥次喜多道中を想像して、遠足前の子供のわくわく気分です。

テニス、音楽、泳ぎ、と山にご無沙汰ですが、映画は見てます。(過日のK2を、一昨日見たエベレスト、いずれも家内が付き合ってくれました。曰く""なんでこんなしんどい目して登るのやろう""と)

、

Re: 六甲の裏山 丹生山系シビレ山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 7 月 9 日(水)21 時 05 分 33 秒

> [No.2042\[元記事へ\]](#)

越田和男さんへのお返事です。

> 山梨県にシビレ湖（四尾連湖）というのがあります。富士山の北麓、海拔 880m、にある小規模なカルデラ湖で、きれいなところですよ。四つの尾を連ねた竜の住むところとの言い伝えがあるそうです。

いろいろな名前の由来があるんですね。

ちなみにシビレ山の名前の由来をネットで調べてみると、「丹生山は丹生（水銀）が採れたそうで、山伏がそれを使って不老長寿の薬を調合していて水銀中毒で痺れた」「渡来人の言葉」とか書いてありました。シブレ山はどういう意味でしょうかね。

Re: 六甲の裏山 丹生山系シビレ山

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 7 月 7 日(月)12 時 32 分 22 秒

> [No.2041\[元記事へ\]](#)

山本 恵昭さんへのお返事です。

山梨県にシビレ湖（四尾連湖）というのがあります。富士山の北麓、海拔 880m、にある小規模なカルデラ湖で、きれいなところですよ。四つの尾を連ねた竜の住むところとの言い伝えがあるそうです。

六甲の裏山 丹生山系シビレ山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 7 月 6 日(日)23 時 03 分 57 秒

六甲の裏、北西方向に標高 500m 前後の丹生山系があります。梅雨の合間を使って、妻とシビレ山から丹生山に行ってきました。途中、出会ったのは単独行のおじいさん 2 人で、静かな山でした。

9:15 吞吐ダム横駐車場に車を止め、太陽と緑の道の看板に従って森の中に行く。道ははっきりしているが、登るにつれて急登となる。あっちこっちにロープが張ってあり助かる。10:45 シビレ山山頂 465m はまったく展望もない。

丹生山 515m 山頂の丹生神社でラーメンとコーヒーで昼食 11:35。黒い雲がだんだん降りてきたと思っていると雨が降り出した。急な道をひたすら下り、12:45 サイクリングターミナルの横に下山。傘をさしてダム沿いのサイクリングロードをたどり、駐車場に 13:25 着。

シビレ山は何の特徴もない藪山なのですが、変な名前ですね。ダム湖をはさんだ南側にはシブレ山という山があります。シビレやシブレ、なんか特別な意味があるのでしょうか。

映画「ビヨンド・ザ・エッジ」

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 6 月 30 日(月)21 時 53 分 31 秒

一寸オーバーな「歴史を変えたエベレスト初登頂」と副題のついた映画を観てきました。3D の画像はさすがに迫力の高度感で、素人ながら傾斜が実にリアルに出ているな、と感じました。南峰から見たヒラリー・ステップを含む前人未到の尾根筋に挑む決断は、やはり死をも覚悟したものだったことも、よく感じとれました。

うそ臭い場面と云えば、ヒラリーがクレバスに落っこちる場面ぐらい。山好きの諸兄にはやはり必見の映画でしょう(是非3Dで)。

物語は単純にヒラリーと1953年の遠征、初登頂に絞られており、上映時間は90分程度。もう少し、せめて15分くらい長くなっても、そこに至る登山史に触れてくれたらなあ、思いましたが、一般向けを考えるとこうなるのでしょうか。

リメイクされた1953年の映像がうまく挿入されています。俳優の演じるヒラリーとテンジンに比べて、実物のお二人の方がはるかに気合の入った面構えでした。特にテンジンの、あのギラギラした目つきと白い歯は、1980年頃に訪日した時に見せた精悍な印象を更に強調するものでした。

平生会館集会

投稿者：平井幹男 投稿日：2014年6月23日(月)11時32分21秒

いよいよ来年に90周年を迎えるにあたって、8月2日土曜日の18時に平生会館でビールでも飲みながら雑談形式で、気楽にご相談したく、ご都合のつく方はお集まり下さい。

一応テーマとして、開催時期等です、206号室を予定しています。

宜しく願います。

バリ島に行ってきました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2014年6月21日(土)18時11分59秒

6月初頭、シンガポール在住の次女を訪問したついでに、娘と孫との3人でバリ島の住友健時さんのフルーツ・ビラへ3泊4日で行って来ました。バリ島は観光もいいですが、ゆっくり、のんびりと過ごす所でした。9部屋ある内、1年の長期契約が2家族、3ヶ月と1ヶ月の長期滞在の日本女性がそれぞれ1名、お客のほとんどがピーターでした。3泊4日ではアツと言う間でした。

しかも格安。是非、HPで「バリ島 フルーツ・ビラ」を覗いてみて下さい。

部屋も広く清潔、ベッドはキングサイズ、部屋の前には小さいながらもプールがあり、起きぬけのスイミングも気持ちの良いものでした。

最近、バリ島は治安が悪いそうですが、ビラのあるサヌールでは物売りを殆んど見掛けませんでした。

物価もメチャクチャ安く、ローカルレストラン（ワルン）は勿論、レストランでも1人1千円あれば、腹一杯、飲んで食べられます。冷えたビンタンビール中瓶で250円位。昼から飲み過ぎるのも無理ありません。雑貨やコスメ、衣料品、日用品、何でも驚くほど安かったです。

所がお金の単位が又、大きく、10000Rpが1000円、丁度、ゼロを二つ取れば大体日本の円になります。頭では判っていても、いざ、払う段になると単位が大きすぎて混乱してしまいました。ゼロを2個取るというのは、簡単そうで意外に難しかったです。

ただ、交通の便が悪く、動くのにはタクシーか自転車しかないのが難点です。

住友さんのスタッフに日本語が出来るバリ人がおり、ガソリン代込み一日5千円で朝から晩まで乗り放題、小生は3日間とも頼みました。

住友夫妻が親身になって色々教えてくれて本当に助かりました。彼は食堂も経営、又、インドネシアの在日看護婦のアフターケアや、病院で不要になった車椅子を

インドネシアに送るボランティア活動にも力を入れており頑張っていました。
皆さんに宜しくとの事でした。兎に角、のんびりと過ごすには最高の所です。
バリ島にはアグン山という 3142 (?) mの山があり、ガイド同行なら登れる
そうです。次回、訪問した時はチャレンジしてみますか。
住友ご夫妻、色々とお世話になり有り難うございました。



春を背負って

投稿者：飯田 進 投稿日：2014 年 6 月 18 日(水)15 時 02 分 38 秒

すでにご覧になった方おられるでしょうが、山を題材にした、映画です。木村大作監督が、残雪の立山に 50 日こもってロケしたといわれるだけあって、立山からの懐かしい景色がふんだんに出ていて、変に加工されていない実写が見所です。

Re: スズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 6 月 16 日(月)22 時 14 分 31 秒

> [No.2034\[元記事へ\]](#)

スズコキャンプ、好天に恵まれてのんびりと採取。
シーズン終盤ですが、結構太目のものが沢山収穫できました。
去年は虫入りが多かったのですが、今年はましな方。

宴会はいつもの場所で、夜遅くまでにぎやかにたわいのない話を楽しみました。
それにしても皆さんお元気ですね。

ご参加の皆様、有難うございました。
暑くなってきました。次は沢登りでしょうか

スズコの食べ方

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 6 月 15 日(日)21 時 05 分 30 秒

山形の知り合いから教えてもらったのですが、採れたてのスズコを皮のまま火であぶり、皮を少々焦がしたところで皮をむき、醤油、塩、またはマヨネーズ（プラス山葵少々）で美味しく食べた経験があります。一度お試しあれ。ご存じかとも思いますが。

スズコキャンプ

投稿者：井上 知三 投稿日：2014 年 6 月 15 日(日)13 時 38 分 18 秒

今年も恒例のスズコキャンプに参加しました。今回は常連の塩崎さん・大森さんがおられませんでした。いつものように昨日 10 時に氷ノ山大段々平に集合、準備を整え神大ヒュッテ付近を中心にスズコ採り・氷ノ山への山歩きとにめいめいが励みました。

夕刻より天滝の休憩所で皆でスズコの皮むきをし、山本シェフの手際のよい料理【天ぷら・鍋】美酒で宴会、夜の更けるのも忘れ楽しいひと時を過ごしました。翌朝、記念撮影後ワールドカップ組と二手に分かれ解散。



山嶽寮 原稿のこと

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014年6月15日(日)09時00分29秒

山嶽寮 原稿の募集、ご寄稿のお願いです。

題材は問いません。

長さも不問ですが、あまり短いとカットで増量します。あまり長くと次号と分割掲載になる場合があります。

7月末を目安にお寄せください。

どなたか芦田さんの追悼をお願いできませんか。ご自身がムリでも「彼なら絶対書いてくれる」という鉄板情報をお待ちします。

メールのあて先は masa76◎aamil.plala.or.jp (◎のところは@マークに置き換えてください。上の投稿者名の後ろの封筒マークからも接続します)

郵送の場合は 654-0141 須磨区竜が台 2-1-44-503 大森雅宏 あてにお願いします。

スズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年6月11日(水)23時29分45秒

この週末は、氷ノ山スズコキャンプです。

何とか天気も梅雨の中休みとなり、山菜採りの味方をしてくれそうです。

現在参加予定は、平井さん、井上さん、松下さん、森本さん、安井さん、柏さん、浪川さん、私、そして夕方から武田さんの9名です。

14日(土) 10:00、大段が平にご集合ください。

ほかに参加される方がおられましたら、ご連絡ください。

Re: 5月GW 四国・石鎚山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年6月7日(土)23時08分49秒

> [No.2028\[元記事へ\]](#)

白川 浩平さんへのお返事です。

子供と登山、いいですね。

我が家も子供が小さいころは白馬岳や御岳、北岳いろいろ行きました。

懐かしく読ませてもらいました。

6月14・15日に氷ノ山でスズコキャンプを行います。

根曲がり竹のタケノコなど、山菜採りと、某駐車場で車中泊 or テント泊です。

良かったら、一緒にいかがですか。

奥飛騨

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014年6月5日(木)08時15分2秒

残雪と新緑の奥飛騨で温泉と酒を楽しんで来ました。



Re: 5月GW 四国・石鎚山

投稿者：越田和男 投稿日：2014年6月4日(水)23時11分38秒

> [No.2028\[元記事へ\]](#)

白川 浩平さんへのお返事です。

父子の連休登山記楽しく拝読。次は夏の富士山だそうです、出来るだけ混雑を回避した日程で、是非楽しんで下さい。またの寄稿をお待ちしています。

5月GW 四国・石鎚山

投稿者：白川 浩平

投稿日：2014年6月4日(水)12時15分25秒

H2 新高卒の白川浩平と申します。初めての投稿失礼いたします。

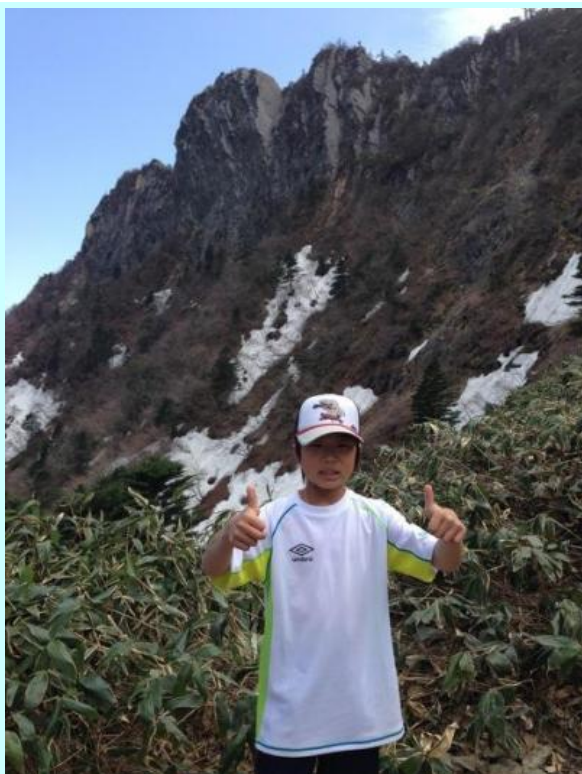
高校生の時以来、山登りとは疎遠になっておりましたが、小学5年生の息子が富士山に登りたいと言い出し、今年の夏に計画しております。先月5月のゴールデンウィークには、トレーニングとして四国・石鎚山に登ってきました。

土小屋登山口から山頂直下の鎖場付近まで2時間程、鎖場を登って山頂の石鎚神社、そこから石鎚北壁の真上の岩尾根をたどって最高ピークの天狗岳を踏んできました。意外に残雪が多く、ちょっとした雪渓を横切ることも何度があり、また石鎚北壁を見下ろしては高所恐怖症である自分を再確認してきました。

また、帰り道では下りの鎖場の大渋滞を横目に、すぐ脇の急な雪渓をキックステップで降りて大幅な時間短縮出来たのですが、この時は高校2年生の時に大学山岳部の合宿に参加して雪上訓練でシグいて頂いた事に本当に感謝しました。

山道では、オシャレなウエアに身を包んだ若い女性グループや、山登りデートといった風の若いカップルを見かけ、一昔とは変わったものだなあとしみじみ思いました。白川浩平





ミック・ファウラー講演会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年6月3日(火)23時13分15秒

この土曜日に、三宮でミック・ファウラー氏（英国山岳会会長）の講演会があります。

無料とのことで申し込みました。

好日山荘のHPから申し込みをすることになります。

お時間のある方はいかがでしょうか。

http://www.kojitusanso.jp/event2014_mickfowler/

Re: スズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年6月1日(日)21時19分19秒

> [No.2025\[元記事へ\]](#)

井上 知三さんへのお返事です。

> 山本 恵昭 様 いつもお世話になります。

> 松下 哲夫さんと参加いたします。楽しみにしています宜しくお願いいたします。

下見には行けていませんが、例年より少し遅れているようですのでちょうど良い頃かも知れません。
よろしくお願いします。

スズコキャンプ

投稿者：井上 知三 投稿日：2014 年 6 月 1 日(日)10 時 10 分 39 秒

山本 恵昭 様 いつもお世話になります。

松下 哲夫さんと参加いたします。楽しみにしています宜しくお願いいたします。

映画・K 2

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 5 月 22 日(木)23 時 32 分 36 秒

イタリア映画「K 2・初登頂の真実」観てきました。観終わった後、仲間数名とめずらしく銀座で一杯やりました。平井センキチも一緒でした。映画については敢てノーコメント。

スズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 5 月 22 日(木)20 時 43 分 54 秒

いよいよ山菜の季節となりました。

今年のスズコキャンプは、6 月 1 4 日（土）1 5 日（日）で実施しようと思います。

1 4 日 1 0：0 0 に氷ノ山大段が平に集合。

山菜採りの後、天滝の休憩所で宴会のつもりでいます。

参加される方は、掲示板であるいは山本までご連絡ください。

氷ノ山神大ヒュッテ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 5 月 20 日(火)22 時 06 分 6 秒

17 日 18 日と、氷ノ山の神戸大ヒュッテに行っていました。

100 周年事業の一環で、小屋補修用資材の荷揚げのお手伝い。

久しぶりに 20kg 砂袋を担ぎました。現役が 8 名参加、女性部員でも 2 0 kg× 2 袋を何往復も担ぎ上げるのには驚きました。

今年のスズコは遅れているようで、まだあまり生えていません。沢山の人が藪に入っていましたが、どなたもあまり採れていませんでした。コシアブラの味噌汁と山椒ラーメンを楽しみました。

草戸山 365m

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 5 月 17 日(土)11 時 33 分 20 秒

今週は高尾山の東山稜で町田市市の最高峰・草戸山に登ってきました。平日でも混んでいる高尾山口駅前から、高尾山に向かわずに、反対側の尾根道に入ると静寂そのもの。結構アップダウンのしんどい尾根筋だが新緑と咲き残りのツツジを楽しんで、津久井湖まで縦走した。

一行は田村俊介氏率いるパミール中央アジア研究会の老人仲間 6 名。

特筆すべきは初参加の内田敏子さん（昭和6年生、83歳）。70歳代で8000m峰を登ったオバ様。街中で見ると普通のバーさんだが、山装束をするとぐっと若返っておられ、健脚そのもの。頂上での赤ワインも勿論のこと、下山後の餃子屋での打ち上げでは、生ビールの中ジョッキ2杯をペロリ。この9月にはネパールの6000m級の山を目指しておられるとのことだった。生まれつきの身体能力なのか、努力の賜物なのか、脱帽するのみ。

雨宮さんの続き

投稿者：平井吉夫 投稿日：2014年5月16日(金)20時13分46秒

おかげでボナッティは生き長えました。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2014年5月14日(水)09時18分43秒

山本恵昭君から海谷高地の写真が届きました。

アルバムに掲載しました。

大学山岳部部員募集

投稿者：平井幹男 投稿日：2014年5月13日(火)08時27分51秒

山岳会のホームページ大学山岳部部員募集の写真が、谷君と塩崎さんのおかげで新しくなりました。一度ご覧になって見て下さい。

K2 初登頂のサイドストーリー

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2014年5月12日(月)23時02分15秒

1953年、英国のエベレスト初登頂。1953年、米国のK2敗退。1954年、イタリアのK2初登頂。この三つの記録には次のような背景があった。

第二次大戦終結後、国家の国力誇示は世界の高峰初登頂にあり、歴史的行きがかりから

英国がエベレストの登山許可を取得したのは当然の成り行きだが、米国は国家の面子をかけて世界第二の高峰K2を目指したのです。1953年、K2遠征を計画していたイタリアは米国の政治的工作によって、その計画は1954年に持ち越されたが、米国のK2敗退の結果にイタリア山岳界は、ほっと胸をなでおろしたに違いない。そして1954年、イタリア隊初登頂の快挙。故国に帰還した遠征隊はジェノバで四万人を超える大観衆の熱狂的歓呼に迎えられた。ここで話が終わるとK2初登頂は輝かしい記録として、登攀史に名を刻んだのだが、その登頂に秘められた「嘘と裏切りの初登頂」の事実は、2007年に刊行されたイタリア山岳会の公式報告書で明らかになった。その詳細は甲南山岳会通信67号・80ページの拙稿を参照ください。

次にボナッティのK2遠征以後の登攀について書かねばなりません。

アタック隊用の酸素を吸ったとあらぬ疑いをかけられた彼は人間不信に陥り、完全な自由を求めてソロ登攀者となり、ドリュエ南西壁、厳冬季のマッターホルン北壁を完登。だが冒険をこのように極度まで追う者、およそ妥協を知らぬ者は山岳界、メディアの批判の標的となりやすく、精神的に追い詰められた彼は、1965年「今後いかなる登攀も行わない」と表明した。メスナーはボナッティの引退宣言を、彼に嫉妬する山岳界の集団による精神的殺害であると評している。

ボナッティを追い詰めたさまざまな状況にあって彼が安らぎを覚えたのは、愛妻ロッサナポDESTAとの出会いだ

った。(入籍なしの事実婚)

世間の誹謗、中傷に屈せず山との格闘を続けたメスナー。精神的に耐えかね登山界を去ったボナッティ。そして極地探検のルポライターとしての行為に生きたボナッティ。それはメスナーが42歳にして辿った道と同じだが、35才と早すぎる引退の前に8000メートルを目指さなかったのは、「資金集め」に不器用なボナッティ。「資金集め」に長けた商売上手なメスナーとの差でしょう。

映画はまだ観ていませんが、明日にでも観にいけます。

ボナッティ

投稿者：飯田 進 投稿日：2014年5月10日(土)09時27分28秒

柏君、ボナッティの嫁さん誰だか知ってる？もし知らなかったら。

彼の嫁さんは、世界一の美女、といわれた、ロシアナ、ポデスタ。トロイのヘレンの、ヒロインを演じた女優です。以前ボナッティが東京に来たとき、会いに行きましたが、皆のもう一つの目的は、嫁さんを見に行くことでした。もう年でしたが、結構美人でしたよ。

映画「K2 初登頂の真実」

投稿者：柏 敏明 投稿日：2014年5月9日(金)22時13分56秒

飯田さん K2の映画の情報を有り難うございました。

早速ネットで調べますと、1952年イタリア隊の実話をもとにした映画で、2分程の予告編も見れました。面白そうです。

大阪も東京と同じく、10日からシネリーブル梅田で封切りです。

映画

投稿者：飯田 進 投稿日：2014年5月9日(金)09時14分48秒

本日の新聞に、K-2初登攀の映画が、東京では10日から、ヒューマントラスト有楽町で上映だそうです。関西も上映されているのでは。

再び海谷高地へ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年5月6日(火)23時03分39秒

カンさん、大森さんと3人で、昨年と同じく海谷高地へ行ってきました。計画では、渡渉して駒ヶ岳へ登る予定でしたが、水量多く断念。昨年と同じく阿弥陀山へ登ってきました。

3日7:00糸魚川の山峡パークを出発。昨年より夏道が多く出ているので歩きやすい。途中でカモシカに出会うが、縄張りを主張しているのか岩の上から鳴きながら、こっちを見ていて逃げない。右岸へ渡ってから残雪の森を登って海谷高地へ10:00到着。

小さな流れを倒木をたどって渡り、焚火のできる川原近くをキャンプ地とする。釣りをするが、濁りが強くまったく当たらない。おまけに倒木を渡るときにバランスを崩して川へドボン。2mほどの流れなのに、ヘそまでつかずぶ濡れとなる。焚火で衣類を乾かし、酒飲みタイムと鍋料理。

4日6:00ダム下のスノーブリッジを偵察に行くが、渡ってからの岩と雪の状態が悪く断念。上流へ遡り、昨年見つけておいた渡渉ポイントへ行くが、水量多く危険と判断。駒ヶ岳はあきらめて、昨年登った阿弥陀山へ行くことにする。阿弥陀谷登り口7:00。ひたすら登って尾根上へ9:20着。腰の調子が悪い大森さんを残して、尾根をたどり阿弥陀山10:00到着。しばし眺望を楽しみ、キャンプ地12:00。

またまた釣りに行き、武田さんに頂いた毛鉤でかろうじて岩魚 1 尾を確保。焚火で塩焼きにしておいしく賞味し、のんびり贅沢時間を楽しむ。太い流木を集め、夜遅くまで焚火三昧。

5 日夜半風が強く、天気の変り変わりの前兆。朝食を終えると雨が降り始めた。7 : 0 0 出発。夏道をたどって、山峡パークへ 9 : 0 0 到着。本降りになる前に下山できた。

雨飾温泉へ行こうとするが、途中で通行止め。仕方がないので、少し戻って塩の道温泉へ。一番風呂であったが、そのあと続々と人が来て思わぬ人気に驚きである。糸魚川で、カンさんにそばをおごっていただき、干物をお土産に、大津、神戸へ。

駒ヶ岳目指してせっかく溪流足袋も持っていったのですが、渡渉できず残念。また、紅葉の時期にでも行ってみたいと思います。釣りではまだまだ修行不足で、川岸の枝や流木に引っ掛けて仕掛けを失ってばかりで釣果は伸びず。でも、自然が豊かで焚火三昧、やはり海谷高地は魅力的なところでした。



慰霊祭の報告

投稿者：松下哲夫 投稿日：2014年5月1日(木)23時11分11秒

慰霊祭参加者

牧野宏、越田和男、村上与利一、塩崎将美、浪川純吉、上本武夫、國分廣昭、南里章二、井上知三、平井幹男、松下哲夫、大森雅宏、山本恵昭、特別参加：故上月慶太名誉会長のお孫さん親子（樋口様）2名 計15名 のご参加いただきました。

4月20日（日曜日：曇り）阪急芦屋川駅10時頃各自出発。レリーフ11時30分頃全員集合。今回物故者「関集三様（旧10）、芦田匡平様（大35）」の銘板をレリーフに嵌め込み、黙祷。昼食後、「山の歌」を合唱し現地にて解散。 ご参加いただきました皆様有難う御座いました。来年の慰霊祭にも多くの方がご参加くださることを願っております。

報告が遅れまして申し訳ありませんでした。



Re: ロックガーデン

投稿者：越田和男 投稿日：2014年4月29日(火)11時59分45秒

> [No.2010\[元記事へ\]](#)

大森雅宏さんへのお返事です。

写真貼り付け有難う。岩の様子からしてこれは震災以前の撮影でしょうね。

全員のお顔は判別できませんが、物故者が沢山おられますね。福田泰次、国府三郎 柳澤、美田、の諸先輩に、ひょっとして最上部の白い服装の方は乾君かな。

ロックガーデン

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014 年 4 月 29 日(火)10 時 46 分 33 秒

越田さんの「ロックガーデンの変化にも驚かされました。灌木ますます生い茂り」のことで。
山嶽寮のことで古い写真を探していたら、古いのが出てきました。

貼り付けます。

この写真は、近ごろ昼ご飯を食べている場所から撮っています。いまはとてもこんなに見透しがききません。

写真中央に鷺尾さんと福デンさんの姿が見えます。

この日の朝、芦屋川でガールスカウトのお譲ちゃんがたが「六甲を緑の山に戻しましょう」と植物の種を配っていました。それを見てかのおふた方が「六甲はもともとハゲ山や」「そやそや」と言っておられるのを耳にした記憶があります。

鷺尾さんのことを「端正なお姿の鷺尾さん」と書きかけたのですが、そうすると福田さんの形容が難しく、お名前併記にとどめました。（「やんちゃ顔の福田さん」とはやはり書けませんもの）



総会について報告

投稿者：井上 知三 投稿日：2014 年 4 月 29 日(火)08 時 23 分 4 秒

事務担当より遅くなりましたが総会の報告をいたします。

会長のあいさつに始まり総会・懇親会まで和やかな総会でした。参加者 25 名
また、今回は名誉会長 香月さんのお孫さんの樋口さん親子が懇親会にご出席されました。

会長挨拶：中高・大学共に部員がないという厳しい現実また来年秋の 90 周年の記念事業開催にあたり皆さまの協力を是非お願いしたいとの事

1) 事業報告等

慰霊祭：ここ数年開催されていないので今年は当日の天気判断として是非開催との事。銘板については必要とあれば近い学年で検討

秋の集会：素晴らしい天候に恵まれ素敵な集会でした。参加者が増えることを望んでいます。

山嶽寮：原稿をお寄せ頂いた方へのお礼と新規の原稿依頼、特に今までに投稿されていない方々へ

山岳部現状：中高・大学部員は0名、大学の部室は昨年の6月に取り壊し昨年の掲示板等で報告。合併を打診されていた体育会も部員激減ワグネル0人？スキー部2人？との現状

会計報告：郵便局による振り込みで会費が少しずつ増えつつあります。

2) 議事及び報告

90周年事業準備

- ① 大学内の会場にて開催が望ましいのではないか？費用が安くできる他
- ② 大学で開催予定となったため準備委員として牧野さん安井さんをお願いいたしました。
- ③ 大学で開催すると宣伝効果が非常に大きい山岳部の90周年が記事になりやすい。山岳部の復活にもなるかも・・・？
- ④ 記念事業の内容については2部制にしては外部の講師を招いてシンポジウムその後懇親会（家族参加も歓迎）
- ⑤ 記念物については文集・書物よりも視覚に訴える写真集・CD他
- ⑥ 遭難対策費用について現状の部員がいらない状態では活用できないので少し90周年記念事業で使用するのでは意見

山岳部・山岳会の今後

部室がなく部員もない現状では希望者が来てもすぐに対応できない。

ネットを利用する若い人が多いのでホームページの充実、特に山岳部のページの充実・更新等 谷 勇輝さんを責任者にしてはとの意見

会費長期未納者について

来年の秋90周年まで待ちその後は案内等は送付するが発刊物【山嶽寮】等は送らない。

最後に総会時にメモをとって頂いた西川けい子さん【50年卒】に感謝いたします。

敦賀半島

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014 年 4 月 28 日(月)00 時 01 分 43 秒

妻と敦賀半島、西方ヶ岳・サザエヶ岳に行ってきました。

26 日朝、神戸発。昼頃敦賀のスーパーで食糧を買出し、下山予定の浦底の林道脇に駐車。1 日 3 便しかないコミュニティバスで常宮へ戻る。14：00 入山。急登を終えると銀命水。岩の間の湧水で今夜の水 4 リットルを汲んで担ぎ上げる。16：20 西方ヶ岳山頂非難小屋へ到着。6 人くらいは泊まれる小屋を貸しきり。小屋の近くに展望岩があり敦賀湾を隔てて、奥美濃や白山が望める。

27 日展望岩からご来光。6：00 出発。ブナの新緑が美しい。所々にある花崗岩の巨石がアクセントになり、展望を与えてくれる。サザエヶ岳を経て、どんどん下っていき、浦底の駐車場所へ 8：30。

半島先端の立石灯台を訪ね、敦賀の気比の松原で昼食。15：00 家に帰ってきました。

日帰りの人気コースのようですが、人混みを避けてあえて山頂非難小屋で 1 泊し、静かな山で日本海の景色を堪能してきました。残念ながら、カメラを忘れ写真は無しです。

写真の UP

投稿者：管理人 投稿日：2014 年 4 月 25 日(金)08 時 35 分 19 秒

越田さんの写真をアルバムに掲載しました。

総会・懇親会・慰霊祭

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 4 月 24 日(木)14 時 30 分 31 秒

先週末、標記に参加の際は住吉駅前での二次会、芦屋のうどん屋での打ち上げも含めて大変楽しく過ごさせてもらいました。執行部の各位に厚く御礼申し上げます。3 時頃芦屋で解散して、7 時前には横浜の自宅に帰りつきました。便利な世の中です。

帰宅後調べてみたら、ロックガーデンに前回行ったのは 5 年前でした。この 5 年の変化は自分の体力の衰えも顕著でしたが、ロックガーデンの変化にも驚かされました。灌木ますます生い茂り、せっかくの白い地肌が今やまったく見ず、従って見透しが利かず、案内されないと甲南レリーフに辿りつけない有様でした。レリーフ付近の地盤も緩んでおり、あと何年もつか心配になりました。

帰路高座の滝で撮った写真を塩崎君にメールしてアルバムにのけてもらうように頼みました。

(無題)

投稿者：管理人 投稿日：2014 年 4 月 18 日(金)22 時 16 分 39 秒

1) 掲示板に新しい投稿が有った時メールで知らせてくれます。

“書き込み通知” (すぐ下)

<http://6808.teacup.com/konanalpine/bbs/announcemail>

2) 投稿した後、削除/編集したい時

“自分の投稿を編集/削除” (ページの一番下)

便利な機能です、使ってみてください。

Re: クルージング

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014 年 4 月 18 日(金)18 時 27 分 24 秒

小豆島から日生、家島をまわり明石大橋をくぐり無事西宮に帰港しました。魚は美味しい海は穏やか、楽しい航海でした。



Re: クルージング

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014 年 4 月 15 日(火)18 時 20 分 0 秒

今日は五剣山に登りました。緊張する二時間の歩き、景色の良いやまでした。今は小豆島に停泊してます。



クルージング

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014年4月14日(月)18時18分41秒

山仲間のヨットでクルージングしてます。昨日は西宮から洲本まで、今日は鳴門大橋をくぐり志度マリーナまで。春の海をノンビリ楽しんでます。



雑誌『岳人』 廃刊

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2014年4月14日(月)13時57分27秒

伝統ある『岳人』（中日新聞・東京新聞）が9月号から廃刊になり、モンベルの子会社が引き継ぐそうです。

大尖山・台湾

投稿者：越田和男 投稿日：2014年4月7日(月)14時50分28秒

台湾の最南端ランピ岬に行ってきました。

近くに、台湾の槍ヶ岳あるいはマッターホルン？とも呼べそうな、格好の良い岩峰(大尖山 317m) があ

り、その昔甲南の先輩、故川崎厚二氏（昭和24年旧高卒・3代目甲南山岳会会長）が登られたことを思い出した。

帰国して、古い『山嶽寮』（31号1976年）をみると、「台北から一剣山（大尖山）に登る」と題した川崎さんの投稿があった。商社勤務で台北駐在中に旧正月の休みを利用して、台湾の最南端を訪ね、この岩峰を見て登高意欲をそそられて、連れの台湾人の青年と2人でルートファインディングよろしく攀じ登ったとある。トレーニングなしザイルも持たずにいきなりの岩登りだったので高度恐怖症に悩まされたとのこと。なお、この山は現在登山禁止となっている。

私が、川崎さんにニューヨーク郊外ハドソン川の上流でハイキングに連れて行ってもらったのは、この10年ぐらい後のことだった。多忙な駐在員仕事の合間にも、寸暇を縫って山や自然に接してこられたのだなあと、つくづく思う次第です。



訃報

投稿者：井上 知三 投稿日：2014年4月5日(土)11時49分50秒

事務担当よりお知らせいたします。【総会の返信から】

昨年の12月に旧制10回理 関 集三 様がお亡くなりになりました。

ご冥福をお祈りいたします。

総会・慰霊祭について

投稿者：井上 知三 投稿日：2014年3月30日(日)09時21分16秒

事務担当より、今年も総会・慰霊祭の時期となりました。返信葉書の締切（3/31）出欠の返事を早く投函してください。多数の参加をお待ちしております。

現在の出席者の方々

小原 耕治・雨宮 宏光・鈴木 頼正・田中 孜・牧野 宏・越田 和男・二谷 和成・武田 雄三・伊丹 徳行・安井 正・塩崎 将美・浪川 純吉・上本 武夫・國分 廣昭・石原 浩二・南里 章二・平井 幹男・松下 哲夫・大森 雅宏・井上 知三

山岳会会計

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2014年3月29日(土)15時13分0秒

現在、H25 年度山岳会会計を整理中です。
お立替いただいている件がありましたら、至急ご連絡ください。

福田様

以前メールで送っていただいた「郵便局の入金状況」がパソコンの入れ替えで行方不明になってしまいました。申し訳ありませんが、再度メールしていただけませんでしょうか。

動画の貼り付け -- このたびは失敗

投稿者：大森雅宏 投稿日：2014 年 3 月 23 日(日)11 時 44 分 31 秒

週末、塩崎さんの大山山荘に。

ご参加は、米山さん・安井さん・塩崎さん・浪川さん・石原さん・大森。
夕食の「すき焼き騒動」のあと、話しが掲示板のことになり「動画が貼り付けられるか」どうか。
で、短い長いのいくつか撮ってきました。

.....

試してみましたが、4 メガまでのファイルが条件でした。
一番短い 2 秒でも 4.6 メガでアウト。拡張子も amc,3gp,3g2 と条件がついていました。
またどなたかお試しになってください。

.....

あ、「すき焼き騒動」ですか。
食材を入れる順番・たまねぎを使うかどうか、複数の奉行の勢力争い。
まあ他愛のないことです。
が、ちょっと深刻だったのが「肉の絶対量」
価格とグラム数の読み違いで、お一人様ふた切れの超上品コースになりました。

秩父の山ふたつ

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 3 月 21 日(金)15 時 30 分 50 秒

今週、月・火と秩父の分相応の山と温泉を楽しんで来ました。一行は会社仲間の老人 5 人。

大霧山 767m：前秩父の山。定峰峠から旧定峰峠に至る林道が残雪で閉ざされており、表面のクラストした重たい雪道を歩かされたが、冬枯れの尾根道との組み合わせで、かえって変化に富んだ山歩きになった。頂上からはまじかに武甲山、西の遠くに両神山など秩父の名峰の景観が楽しめた。

泊り場：小鹿野町の赤谷温泉「小鹿荘」 @12,000 円 沸かし湯ながら掛け流しで露天風呂付き。秩父にはこのようなあまり知られていない鉱泉宿が結構多い。

秩父・観音山 598m。秩父 31 番札所「鷲窟山・観音院」の裏に聳える岩山。見上げるとうんざりする階段の登りや、残雪のトラバースなどもあり、ただただ我慢して登り切る。程良い広さの岩の頂上は秩父真ただ中の 360 度の展望だった。

スキー

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014年3月17日(月)15時00分9秒

雫石で滑ってます。

今日は岩手山が綺麗です。



Re: (無題)

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2014年3月15日(土)16時58分36秒

平井吉夫さんへのお返事です。

山溪・今月の一冊の書評をジュンク堂で立ち読みしてきた。

紙数制限ある中で、メスナーの登山家、著述業、哲学者としての生き様が宮本武蔵の『五輪書』を引き合いにして書かれています。

思うのですがメスナーには心許せる男の友人はいたのでしょうか。一緒に旅したクリストフ・ランスマイアー『氷と闇の恐怖』（中央公論社・1984の著者）については「友人」と呼んでいるが、メスナーの多くの書で男の友について書かれた文章はほとんど見ない。

もう一つ、『評伝・ラインホルト・メスナー』を書く勇気ある人物が現れて、その書が刊行されたら、その書き手に古希すぎたメスナーのエネルギーが燃え上がるかもしれません。

次元の低い喧嘩でなく、かなり哲学的論争が展開されると馬鹿なことを考えています。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2014年3月15日(土)11時25分35秒

今日発売の「山と溪谷」4月号、199ページに、私の書いたメスナー「極限への挑戦者」の書評が載っています。立ち読みでけっこうですので、ご一覧ください。

(無題)

投稿者：柏 敏明 投稿日：2014年3月2日(日)20時59分7秒

写真の追加です。



スキーを担いで、登って降りてきました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2014 年 3 月 2 日(日)20 時 53 分 53 秒

乗鞍位ヶ原山荘に行って来ました。身の程を理解して、事前にスノーシューを購入して参加しましたが、結果は大正解でした。

2 月 26 日、雲一つない好天に恵まれ、リフトを三つ乗り継いで終点からシールを付ける。途中でスノーシューに履き替えたのが良かったのか悪かったのか、スキーを加えて 15 キロの荷物が肩に食い込み、ホウホウの体で分岐点に着く。皆さんはそのまま肩の小屋目指し直登、小生はトラバースして 1 時間半掛かって位ヶ原山荘に付きました。管理人の六辻さんが出迎えてくれ、二日間とも我々だけとのこと。暫く玄関先で話し込んでみると、位ヶ原の屋根を滑ってくる 3 人が見えました。部屋は甲南室。只、昔の 2 階の蚕棚は無くっており、隣の畳部屋に甲南室の表札が上がっていました。移築、増設されたと言っても、もう、四十数年になるそうで、昔は無かった食堂で、六辻さんと色々昔話をしながら鹿肉の鍋の夕食。小西さんと高校卒業記念に訪れた 1961 年春の位ヶ原山荘のアルバムのコピーを渡す。六辻さんも一時、鈴蘭荘に居られたそうで、福島清毅氏や敏さんの事も良くご存じでした。

27 日は一日中吹雪。薪ストーブを囲んだり、豆炭炬燵に入っておでんでお酒をのみながら、一日を過ごす。2 回程、ドーンと言う雪崩の音を聞く。

28 日は前日の吹雪が嘘の様に晴れ上がる。只、雪質が悪く、キツイモナカ雪状態で、

他の3人はそれでもスキーで滑り降りられましたが、小生の足前ではとても無理、最初から諦めてスノーシューで降りる事にしました。折角、スキーを担いで登って、又、担いで降りるとは。トホホ…。K2のポンツーンという16cmもの幅のある馬鹿でかいファットスキーを履かれている山本さんはそれこそスイスイと降りて行かれましたが、後の二人は最初は少々悪戦苦闘。流石に馴れてくると、小生のスノーシューは取り残されてしまいました。スノーシューを持ってきて良かったとつくづく思いながらリフトの終点に着き、やっとスキーに履き替えてゲレンデを滑り降り、皆さんの待っている駐車場に到着。近くの国民休暇村の温泉で汗を流し、一路帰途につきました。

スノーシューのトレーニングに行ったような山行でしたが、諦めていた雪の位ヶ原山荘を五十数年振りに訪れ、青春時代に戻れたのが一番の収穫でした。森本さん、山本さん、小西さん、色々のご迷惑をお掛けした事をお詫びすると共にお世話を頂き有り難うございました。



乗鞍 位ヶ原山荘

投稿者 : kannroku 投稿日 : 2014年3月1日(土)20時46分40秒

卒業来50年ぶりで位ヶ原山荘に行ってきました。懐かしい「甲南室」の木札が下がっており、蚕棚があった部屋はなくなっていました。昔の建物より200m程下手に移動したとのこと。秋の紅葉時期は綺麗とか。思い出がいっぱいある懐かしい位ヶ原山荘でした。

25日 乗鞍高原 美鈴荘 泊

26日 高原スキー場から第一、第二、第三とリフトで これよりシールで肩の小屋口まで 富士見沢を滑って位が原山荘へ 位が原山荘 泊
27日 吹雪 酒盛り 位が原山荘 泊
28日 位ヶ原～高原スキー場～帰阪 参加者 山本薫、小西、柏、森本



遊びにおいでよ

投稿者：だだちゃ 投稿日：2014年3月1日(土)14時14分36秒

拝啓 春陽の候、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、突然のメール差し上げる失礼をお許しください。

私も鳥海山荘では鳥海山を多くの方々に知っていただきたく、ご案内させていただきます。

現在の鳥海山荘では残雪の中、春スキー、スノートレッキング等が楽しめる施設となっております。

場所的は鳥海国定公園内にありますが交通の便が良いので海や酒田駅に

車で40分程度の距離にあります。夕食は山海のメニューと地酒でお・も・て・な・し

登山シーズンには日本百名山の鳥海山と月山をツアーを組んで登って行く団体様もあります。

ぜひ、今年は鳥海山荘をご利用して登山やトレッキングを楽しんでみませんか？

ホームページ参照の上、ご検討ください。

敬具

鳥海山荘のホームページ <http://www.choukai.jp/choukaisansou/>

フェイスブックにも登録してあります 参照してみてください。

メールでのお問い合わせ E-mail:sansou@choukai.jp

お問い合わせ、ご予約の際はお電話でお願いします。

湯の台温泉 鳥海山荘 TEL 0124-61-1727

担当 丸藤

Re: プラブーツ

投稿者 : matsunari 投稿日 : 2014 年 2 月 24 日(月)21 時 35 分 25 秒

> [No.1985\[元記事へ\]](#)

飯田様、今は全く違う業界に勤めておりますが、約 10 年以上前まで、メガネのメーカーに勤務しておりました。

その頃の知識ですと、折れにくいメガネはあります。ツルの部分にβチタンという素材を使用した物です。こちらは細いですが、弾力性があり折れにくい事が特長です。また、衝撃でメガネのネジの部分のロー付けが吹っ飛んでしまう事もあるかとおもいますが、最近ではネジの無いメガネも登場しており、このような懸念はなくなりつつあります。

最後にブランドですが、服飾のブランドはライセンス生産なので信頼性はイマイチです。特にイタリア製のブランドメガネは恰好は良くても耐久性に欠けるのでスキー時には止めといた方が良いと思います。

プラブーツ

投稿者 : 飯田 進 投稿日 : 2014 年 2 月 16 日(日)09 時 48 分 36 秒

皆さんプラブーツで苦労されておられるようですね。小生も十数年前、ゲレンデでいきなり転倒。足を見たら靴下が見えました。外れたスキーには靴の踵部分だけがくっついてました。

でも靴だけではありませんよ。メガネも。特にフレームの部分が問題、小生フレームの部分が分厚いのをかけていましたが、短期間に二本、ポキリと折れました。スキー屋の言うのには、とにかくブランドもの、を買うしかない、とのことでした。

Re:Re: マツナリ様

投稿者 : matsunari 投稿日 : 2014 年 2 月 14 日(金)22 時 16 分 18 秒

越田様、山本様。ご教示頂き有難うございます。

5～7 年で交換するしか無さそうですね。インナーはまだ良好な状態なので、アウターだけでも取り寄せ出来るか確認してみます。

それにしてもプラブーツはパッキリやられるので怖いですね。

初代プラブーツも下山した途端、崩壊しました。核心部でなくて胸をなでおろしたのを思い出します。

大峰・グランドイリュージョン

投稿者 : tani 投稿日 : 2014 年 2 月 14 日(金)02 時 56 分 38 秒

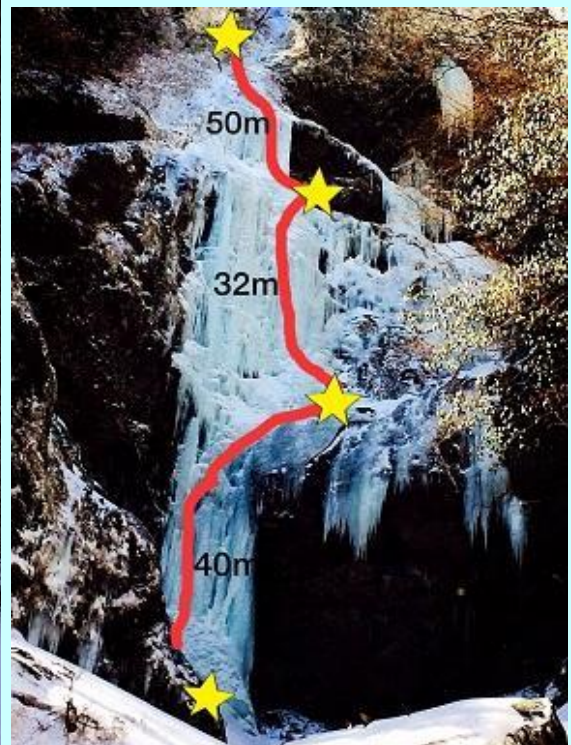
今週、日帰りで奈良県大峰山系の大普賢岳にある氷のマルチに行ってきました。

グランドイリュージョン (100m・3P・V 級)

氷結状態はとてもよく、関西とは思えぬほど迫力満点の氷に興奮しました。

今回は 4 人で登ったため、時間がかかりアプローチと下部の 40m (IV 級) の氷の登攀も含め、14 時間行動で、車止めに帰ってきたころにはあたりは真っ暗でしたが、とても充実したアイスクライミングをすることができま

した。



ハワイ帰りで大雪に

投稿者：越田和男 投稿日：2014年2月9日(日)12時42分29秒

昨深夜、成田空港から9時間かかって横浜の自宅に辿り着きました。成田と都内を結ぶ交通各社がマヒ状態で、乗った京成の通常特急が立ち往生、数時間後にＪＲ総武線が部分復旧したとの知らせに、寒風吹きすさぶ雪の夜道を30分歩かされたりして、やっと都内へ、東横線終電ひとつ前でやっと日吉に。

ハワイ4島（カウアイ、マウイ、ハワイ、オアフ）の快適なトレッキングの旅を楽しんで来た後だけに、年甲斐もなく遊び呆けたバチが当たったと理解してます。

ハワイ島のマウナケア4200mの頂上付近はさすがに雪の世界で、さすがに結構寒かったですが、山頂からの夕日が格別でした。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2014年1月28日(火)12時38分36秒

雪見会から帰ってきました。24日朝我が家を出て、有名な高尾山の真下に作られた、高尾山インターチェンジから中央高速道へ。この中央道並行して走る中央線共々、日本一の山岳景観美をほしいままにした道路ではないでしょうか。小仏トンネルを出ると、南西の空に三つ峠山、その背後には富士山が顔を出している。北側には扇山、500円札の富士山撮影場所で有名な雁が原すり山、タフな滝子山、その下の事故で有名になった笹子トンネルを出ると、南アルプスの盟主北岳から塩見、荒川岳と南アルプス一望。北には大菩薩嶺から金峰まで秩父の山々が連なり、奥には八ヶ岳連峰が、高速道路の番人のように立ちふさがっている、甲斐駒が手に取るように目に飛び込んでくる。この日は特別の快晴。諏訪湖に向かって下りていくと、乗鞍が穂高や槍が挨拶にその雄姿を現して、その北には、常念が鹿島がとくつきりとはっきりと聳えていました。トリは白馬三山。その麓梅池高原での宴は実に楽しいものでした。最終27日前日の吹雪も止んで快晴。人疎なグレンデは圧雪されたばかりのスノウパウダー。天辺の樺の森は気温マイナス10数度。ダイヤモンドダストがちらちらするかなたのハンノキコースに向かってダウンヒル。

山は白銀 朝日を浴びて 滑るスキーの 風切る速さ グリーンと迫るは 麓か谷か おーおーおこの身も駆けるよかける。

あーなんと、俺はスキーがうまいんだろう。そう思った一日でした。

Re: マツナリ様

投稿者：山本恵昭 投稿日：2014年1月27日(月)21時52分5秒

> [No.1977\[元記事へ\]](#)

10年ほど使ったスキー靴のプラスチック本体が、滑っているときに割れました。

10年ほど使っているトレッキングシューズは、松成くんと同じようにそこが剥がれました。ボンドで4回ほど張り合わせて、だましだまし日帰りハイクに使っていますが、何度か使うとすぐに剥がれてしまいます。

プラスチックやウレタンはやはり経年劣化します。使った後の汚れ具合などで持つ時間は違うようですが、そういう物だと割り切って使うほか無いようです。

ちなみに、30年ほど前のキャラバンシューズはトラブル無く使えています。塩化ビニール底の圧着のようです。クッション性は全くありませんが、剥がれる気配はありません。

Re: マツナリ様

投稿者：越田和男 投稿日：2014年1月26日(日)22時52分35秒

> [No.1977\[元記事へ\]](#)

大森君のご指名の理学部化学科卒ですが、プラブーツの寿命云々を申し上げる立場にはありません。

もっばらの伝聞ですが、10年以上経過したものは、使用頻度とは関係なく経時劣化で危険だそうです。最近の一般登山靴も寿命は5年。小生のものも7年ぐらいでパッキリとやられました。ご参考まで。

Re: マツナリ様

投稿者 : matsunari 投稿日 : 2014 年 1 月 26 日(日)22 時 51 分 22 秒

> [No.1977\[元記事へ\]](#)

教えて頂き有難うございます。

こちらでも少し調べてみましたが、一般にプラブーツの寿命は 5 年程度らしいですね。

加水分解はプラブーツでは良く聞きますが、スキー靴では聞いたことが無いのですが、素材の違いでしょうか？
年に数回使うのであれば、高いプラブーツでも 5 年で十分モトが取れそうですが、あまり使わないようでしたら、

最近登場したらしい、革 + 新素材の靴の方が長持ちしそうで、コストパフォーマンスは良さそうな印象を持っております。

短所は、キックステップがやりにくい、インナーがないので、テント内が寒い、インナーで外に出る事が出来ないの
で面倒。滲みるかもしれない。といったところかなと考えております。

いづれにしても、ゆっくり考えて決めて購入するようにします。

マツナリ様

投稿者 : 大森雅宏 投稿日 : 2014 年 1 月 26 日(日)21 時 40 分 18 秒

「プラスチック 加水分解 劣化」で検索するとナルホドが出てきます。

細かい話は理学部化学科の方が詳しいでしょうが、どうも

「--ゴム・プラスチックは、天然素材と比べて劣化しやすい。ゴムやプラスチックは人工的に熱と圧力をかけ、さらには高高性能な触媒を使って無理やりつくり出したものであるため、どうしても不安定にならざるを得ない。実際には一般に考えられているほど長期に渡っては頑丈でない。

ゴム・プラスチックは自然環境下に曝されているうちに物理的・化学的作用を受け、徐々に本来の物性を失い、ついには実用に耐えられなくなり、崩壊・分解にいたる。ゴムやプラスチックは“とにかく劣化しやすく寿命が短い”ということを十分認識しておく必要がある--」

らしい。

かく言うワタシも「古いの愛好家」です。30 年モノに囲まれています。他人事ではないなあ。

靴損壊しました。

投稿者 : matsunari 投稿日 : 2014 年 1 月 26 日(日)19 時 32 分 21 秒

最近、立て続けに靴が損壊したので、ご報告致します。

1 回目は昨年 11 月 9 日に会津駒ヶ岳を登頂した際、頂上で靴の異変に気が付き、見るとソールの蒸着が剥がれておりました。下りでソール前面が剥がれてしまうと土や石がソールと靴本体の間に入り込んでしまい、不快な思いをしましたが仕方ないのでゆっくりと下山しました。

2 回目は、昨日福島県の安達太良山に登山した時です。あだたらスキー駐車場からくろがね小屋経由で頂上を目指そうとしておりましたが、吹雪になり、くろがね小屋で休憩中に気が付きました。写真のように、プラブーツの上部がボロボロと崩れ、バラバラになってしまいました。

くるぶしから上が固まっていないのと、吹雪が収まらないので、頂上は断念し下山しました。

どちらも購入して 20 年近く経過しているので、仕方がないのですが、よく使用していた夏靴はともかく、プラブーツは卒業して購入した為、使用回数が 10 回程度だと思います。ですので非常に納得のいかない思いです。

皆様のプラブーツは大丈夫ですか？





アイスクライミング

投稿者：tani 投稿日：2014 年 1 月 24 日(金)17 時 04 分 30 秒

先週、いつもの同業メンバーで大峰のシェイクスピア氷柱群へアイスクライミングに行ってきました。
今年は雪も多く、氷の発達も良く登りごたえがありました。
関西近郊で垂直の氷を登れる唯一の大峰は貴重な存在です。



伊豆・金冠山

投稿者：越田和男 投稿日：2014 年 1 月 23 日(木)18 時 22 分 30 秒

もっぱらののんびり山歩き。年明けてから 2 度目の山歩きでやっと快晴に。真城峠から金冠山 8 1 6 m へは
登り標高差 4 2 0 m で約 2 時間。寒風吹きすさぶ山頂でした。



欠席します。

投稿者：青木 宏安 投稿日：2014 年 1 月 23 日(木)12 時 29 分 48 秒

遅れまして、ナンヤカンヤデ結局ようゆきません。

皆様のご無事とお楽しみを祈念致します。雪が例年より
深いですので気おつけて。

あけましておめでとうございます。

投稿者：森本寛之 投稿日：2014 年 1 月 19 日(日)15 時 38 分 1 秒

山岳会の皆様

あけましておめでとうございます。皆様ご無沙汰しております。

2008 年理工学部卒業の森本寛之です。

早いものでバンコク駐在も丸三年となりました。

今年の年末年始は満一歳になった娘を連れて家族 3 人でネパール旅行に行ってきました。

初日の出は快晴に恵まれ素晴らしいマチャプチャレやアンナプルナ峰を拝むことができました。

本年も何卒よろしくお願いいたします。

森本寛之





雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2014年1月18日(土)09時29分51秒

今年も参加者24名、早い方は23日より来られます。参加者の方々には、部屋割りそれぞれのグループでお知らせしたとおりです。

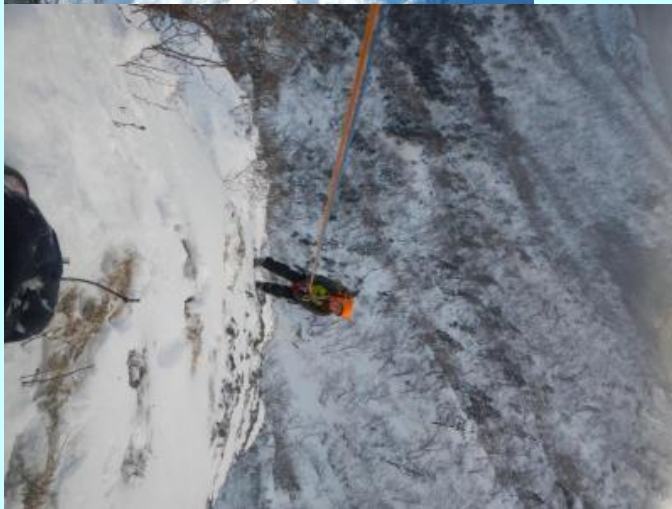
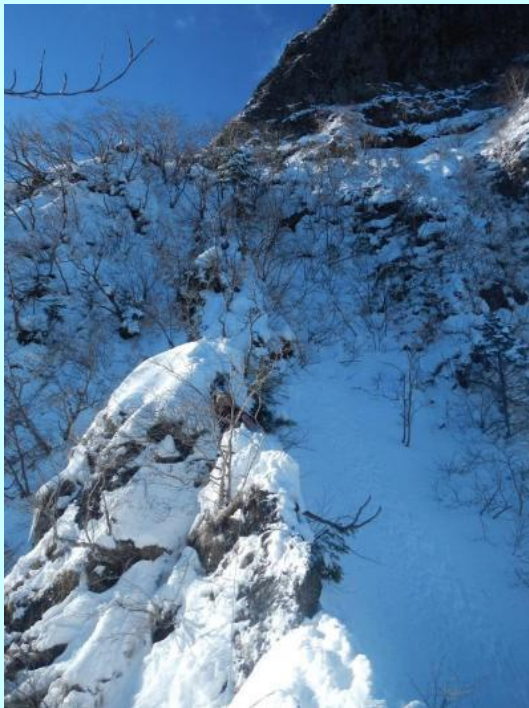
おおいに雪を楽しみましょう。では現地で。

八ヶ岳・権現東稜

投稿者：tani 投稿日：2014年1月15日(水)11時17分36秒

- 1) 東稜のラッセル
- 2) 稜上のナイフリッジ
- 3) 下降は同ルート下降





八ヶ岳・権現東稜

投稿者：tani 投稿日：2014 年 1 月 15 日(水)11 時 08 分 20 秒

松本在住の友人と八ヶ岳の東面の権現東稜へ行ってきました。

3 連休でしたが、西面に比べて、東面はルートが長く人が少ないので 3 連休でも出会ったパーティーは 1 組のみ。稜上は当然トレースなく久しぶりに 15 時間行動でラッセル三昧でした。

天候は安定していたので、-15 度程度で風も弱く快適でした。

ルートについては、林道はトレースを借りて順調でしたが、尾根に取りつく付近でラッセルが始まり、ラッセル三昧。稜上はナイフリッジあり、IV 級の岩登り 2 P 有りを楽しめました。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2014 年 1 月 14 日(火)10 時 46 分 25 秒

柏君。連絡ください。

ホームページ開設案内

投稿者：米山悦朗 投稿日：2014 年 1 月 13 日(月)10 時 11 分 59 秒

私の写真展のホームページを開設しましたのでご覧ください。

www.yoneyama3714.jp

です。

<https://www.yoneyama3714.jp/>

写真の UP

投稿者：管理人 投稿日：2014 年 1 月 12 日(日)09 時 20 分 53 秒

山本恵昭君から八ヶ岳の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

謹賀新年

投稿者：福田信三 投稿日：2014 年 1 月 5 日(日)19 時 48 分 3 秒

皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

12 月から G コースト在で、日本より 1 時間早い新年を迎えました。

ここは数 100km のビーチで知られていますが、背後には太古の森があります。

ほとんど霧に覆われた高温多湿の環境は巨大な樹木や植物が群生しています。

ジュラシックパークさながらです。これもオーストラリアの一面です。

さて、去年で公私の雑事が終了しましたので、今年からは山岳会の催しにも参加させていただきます。

塩崎さん、集まりには声をかけてください。



登りはじめです。

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014 年 1 月 4 日(土)21 時 41 分 4 秒

今日、石垣を一周するため走っていると姿のいい山がありました。これは登らなければ、登ってきません。頂上は岩、左右どちらも海、気持ちよい頂上でした。野底マーベという山。急登 20 分の初登山でした。



雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2014 年 1 月 4 日(土)10 時 36 分 57 秒

謹賀新春

雪見会、1 月 2 5, 6 日中心に行います。

ご参加のみなさん。日程と最初の食事と最後の食事をお知らせください。

例えば、2 5 日の朝食から、2 7 日の朝食まで、とか 2 5 日の夕食から 2 6 日の朝食まで。というふうに。

1 月 1 5 日までに、参加日お知らせください。よろしくお願いします。

Re: すみません 日程以下

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2014 年 1 月 2 日(木)23 時 00 分 56 秒

飯田 進さんへのお返事です。

1 月 24 日から 27 日の間で 2 泊 3 日、または 3 泊 4 日。

指摘ありがとうございました。

最南端

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014 年 1 月 2 日(木)19 時 08 分 8 秒

石垣島に来てます。

今日は波照間へ行ってきました。

高速船で一時間、最南端に立ってきました。

海はエメラルドグリーン、綺麗です。

泳いでる人がいました、驚き。



(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2014 年 1 月 2 日(木)13 時 10 分 34 秒

雨宮さんにご返事です。

雪見会、一週間ずれているのではないですか。雪見会は 1 月 25, 6 日が中心です。

それとも別に何か集まるのですか。

年賀

投稿者：越田和男 投稿日：2014年1月1日(水)13時53分15秒

謹賀新年

お陰さまで何とか穏やかに新年を迎えることが出来ました。

先ほど、近所の諏訪神社に初詣に行ってきましたが、今までにない沢山の人出に驚きました、山岳会会員諸兄のご多幸と、大学山岳部の復活を祈念いたします。

写真は、湘南・二宮町の吾妻山からのものです。



おめでとうございます

投稿者：塩崎将美 投稿日：2014年1月1日(水)10時38分22秒

明けましておめでとうございます

皆様のご多幸をお祈りいたしますとともに山岳会のますますの発展を願います

今年は午年。

写真の馬は“モウコノウマ”です。

世界で唯一の野生種の馬だそうです。

モンゴルのホスタイ国立公園を夕方走っていると山から水場に降りてきた群れを見ました。

管理人から

このページを訪れた方は是非何か書いてください。

お願いします。



